

(様式第10)

鹿大病総第446号

令和4年10月 5日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人鹿児島大学長

佐野 輝

鹿児島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒890-8580 鹿児島県鹿児島市郡元1丁目21番24号
氏名	国立大学法人鹿児島大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

鹿児島大学病院
---------

3 所在の場所

〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号
電話( 099 ) 275 - 5111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科		4腎臓内科
	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		<input type="radio"/>		11リウマチ科
診療実績							
上記の他、「心臓血管内科」、「脳神経内科」、「腎臓内科」、「血液・膠原病内科」、「糖尿病・内分泌内科」、「神経科精神科」、「整形外科・リウマチ外科」で医療を提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

## (2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
上記の他、「乳腺・甲状腺外科」で医療の提供を行っている。							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

## (3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

## (4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

## (5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	心療内科	2	リハビリテーション科	3	病理診断科	4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

## 5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計	(単位: 床)
40	1	0	0	612	653	

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	231	287	435.1
歯科医師	96	42	108.3
薬剤師	49	2	49.6
保健師	0	0	0
助産師	25	0	25
看護師	650	38	677.8
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	14	1	15
管理栄養士	10	5	15

職種	員数
看護補助者	41
理学療法士	23
作業療法士	9
視能訓練士	7
義肢装具士	0
臨床工学士	22
栄養士	1
歯科技工士	3
診療放射線技師	38

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	52
	衛生検査技師	0
	その他	3
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	13	
その他の技術員	23	
事務職員	162	
その他の職員	86	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	55	眼科専門医	10
外科専門医	46	耳鼻咽喉科専門医	7
精神科専門医	11	放射線科専門医	17
小児科専門医	16	脳神経外科専門医	11
皮膚科専門医	6	整形外科専門医	14
泌尿器科専門医	10	麻酔科専門医	19
産婦人科専門医	16	救急科専門医	9
		合計	247

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 坂本 泰二 ) 任命年月日 令和 2 年 4 月 1 日

- ・副病院長(医科担当):平成29年度～令和元年度
- ・医療安全管理委員会 委員:平成29年度～令和元年度
- ・感染症対策委員会 委員:令和元年度～令和2年度

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	515.8 人	22.2 人	538 人
1日当たり平均外来患者数	1,168.2 人	423.1 人	1,591.3 人
1日当たり平均調剤数		1,081	剤
必要医師数		123	人
必要歯科医師数		7	人
必要薬剤師数		18	人
必要(准)看護師数		323	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要	
集中治療室	320 ㎡	鉄筋コンクリート	病床数 人工呼吸装置 その他の救急蘇生装置	14 床 有 有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 [移動式の場合] 台数		379 ㎡ 1 台	病床数 26 床
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 [共用室の場合] 共用する室名			90 ㎡ 病棟薬剤業務管理室
化学検査室	304 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	生化学自動分析装置、免疫比濁分析装置、免疫蛍光分析装置、免疫発光測定装置、蛋白分画電気泳動分析装置、グルコース分析装置、グリコヘモグロビン分析装置、血液計数装置、血液塗抹標本作製装置、フローサイトメータ、顕微鏡
細菌検査室	45 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	血液培養自動分析装置、遺伝子解析装置、嫌気培養装置、炭酸ガス培養装置、抗酸菌培養検査装置、微生物分類同定分析装置、微生物感受性分析装置、微生物由来成分質量分析装置、安全キャビネット、クリーンベンチ、遺伝子抽出装置、好気培養装置、顕微鏡
病理検査室	159 ㎡	軽量鉄骨造	(主な設備)	密閉式自動固定包埋装置、ハラフィン包埋ブロック作製装置、滑走式マイクローム、自動染色装置、自動封入装置、自動免疫染色・ISH装置、凍結切片作製装置、集細胞遠心装置、顕微鏡、病理・細胞診検査業務支援システム、液状処理細胞診前処理装置
病理解剖室	33 ㎡	軽量鉄骨造	(主な設備)	バイオハザード対応排気システム、排水蒸気滅菌処理システム
研究室	8,026 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	ガスクロマトグラフ、電子顕微鏡
講義室	655 ㎡	鉄筋コンクリート	室数	3 室 収容定員 499 人
図書室	2,010 ㎡	鉄筋コンクリート	室数	11 室 蔵書数 131,033 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	82.1	%	逆紹介率	72.8	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		15,410		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		15,134		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,672		人
	D: 初診の患者の数		20,797		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
奥村 耕一郎	琉球大学病院	○	医療に係る安全管理に 関する識見を有する者	無	1
玉利 尚大	玉利法律事務所		法律に関する識見を有 する者	無	1
三好 綾	NPO法人 がんサポートかごしま		医療を受ける者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
鹿児島大学ホームページにおいて公表	





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	0
扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

疾患名		患者数		疾患名		患者数	
1	球脊髄性筋萎縮症	2	56	下垂体性PRL分泌亢進症		4	
2	筋萎縮性側索硬化症	8	57	クッシング病		7	
3	脊髄性筋萎縮症	26	58	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症		2	
4	進行性核上性麻痺	9	59	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症		25	
5	パーキンソン病	71	60	下垂体前葉機能低下症		156	
6	大脳皮質基底核変性症	2	61	家族性高コレステロール血症(ホモ接合)		1	
7	ハンチントン病	1	62	先天性副腎皮質酵素欠損症		3	
8	シャルコー・マリー・トゥース病	4	63	アジソン病		2	
9	重症筋無力症	69	64	サルコイドーシス		74	
10	多発性硬化症/視神経脊髄炎	61	65	特発性間質性肺炎		31	
11	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	11	66	肺動脈性肺高血圧症		42	
12	封入体筋炎	3	67	慢性血栓性肺高血圧症		46	
13	クロー・深瀬症候群	3	68	リンパ管筋腫症		3	
14	多系統萎縮症	6	69	網膜色素変性症		48	
15	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	33	70	バッド・キアリ症候群		1	
16	ライソゾーム病	17	71	原発性胆汁性胆管炎		14	
17	ミトコンドリア病	20	72	原発性硬化性胆管炎		3	
18	もやもや病	38	73	自己免疫性肝炎		12	
19	プリオン病	2	74	クローン病		70	
20	HTLV-1関連脊髄症	21	75	潰瘍性大腸炎		98	
21	全身性アミロイドーシス	13	76	好酸球性消化管疾患		9	
22	神経線維腫症	38	77	慢性特発性偽性腸閉塞症		1	
23	天疱瘡	20	78	コステロ症候群		1	
24	膿疱性乾癬(汎発型)	19	79	クリオピリン関連周期熱症候群		3	
25	高安静脈炎	20	80	若年性特発性関節炎		10	
26	巨細胞性動脈炎	5	81	筋ジストロフィー		11	
27	結節性多発動脈炎	5	82	脊髄空洞症		4	
28	顕微鏡的多発血管炎	16	83	アイザックス症候群		3	
29	多発血管炎性肉芽腫症	8	84	遺伝性ジストニア		1	
30	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	15	85	脳表ヘモジドリン沈着症		1	
31	悪性関節リウマチ	3	86	前頭側頭葉変性症		4	
32	バーシャー病	4	87	先天性無痛無汗症		1	
33	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	88	神経細胞移動異常症		2	
34	全身性エリテマトーデス	289	89	ウエスト症候群		1	
35	皮膚筋炎/多発性筋炎	107	90	早期ミオクロニー脳症		1	
36	全身性強皮症	110	91	結節性硬化症		3	
37	混合性結合組織病	32	92	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む)		22	
38	シェーグレン症候群	37	93	特発性後天性全身性無汗症		8	
39	成人スチル病	13	94	弾性線維性仮性黄色腫		2	
40	再発性多発軟骨炎	3	95	マルファン症候群		8	
41	ベーチェット病	78	96	エーラス・ダンロス症候群		1	
42	特発性拡張型心筋症	34	97	ウィルソン病		2	
43	肥大型心筋症	13	98	コフィン・ローリー症候群		1	
44	再生不良性貧血	20	99	アントレー・ビクスラー症候群		1	
45	自己免疫性溶血性貧血	3	100	多脾症候群		1	
46	特発性血小板減少性紫斑病	34	101	無脾症候群		4	
47	原発性免疫不全症候群	10	102	ウェルナー症候群		1	
48	IgA腎症	16	103	ブラダー・ウィリ症候群		1	
49	多発性嚢胞腎	37	104	22q11.2欠失症候群		1	
50	黄色靱帯骨化症	13	105	修正大血管転位症		2	
51	後縦靱帯骨化症	70	106	完全大血管転位症		1	
52	広範脊柱管狭窄症	2	107	単心室症		5	
53	特発性大腿骨頭壊死症	38	108	左心低形成症候群		3	
54	下垂体性ADH分泌異常症	20	109	三尖弁閉鎖症		3	
55	下垂体性TSH分泌亢進症	4	110	ファロー四徴症		8	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	両大血管右室起始症	2	125	プロピオン酸血症	1
112	エプスタイン病	2	126	メチルマロン酸血症	2
113	アルポート症候群	1	127	肝型糖原病	1
114	急速進行性糸球体腎炎	2	128	家族性地中海熱	1
115	一次性ネフローゼ症候群	10	129	慢性再発性多発性骨髄炎	1
116	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	130	強直性脊椎炎	5
117	紫斑病性腎炎	5	131	クロンカイト・カナダ症候群	3
118	間質性膀胱炎(ハンナ型)	2	132	胆道閉鎖症	4
119	オスラー病	5	133	嚢胞性線維症	1
120	肺胞低換気症候群	1	134	IgG4関連疾患	19
121	$\alpha$ 1-アンチトリプシン欠乏症	1	135	黄斑ジストロフィー	3
122	副甲状腺機能低下症	1	136	レーベル遺伝性視神経症	2
123	偽性副甲状腺機能低下症	1	137	好酸球性副鼻腔炎	15
124	フェニルケトン尿症	2	138	特発性多中心性キャッスルマン病	2

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	138
合計患者数(人)	2,426

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
地域歯科診療支援病院歯科初診料	ハイリスク分娩管理加算
歯科外来診療環境体制加算2	後発医薬品使用体制加算2
歯科診療特別対応連携加算	病棟薬剤業務実施加算1
特定機能病院入院基本料	病棟薬剤業務実施加算2
救急医療管理加算	データ提出加算
超急性期脳卒中加算	入退院支援加算
診療録管理体制加算1	認知症ケア加算
医師事務作業補助体制加算1	せん妄ハイリスク患者ケア加算
急性期看護補助体制加算	精神疾患診療体制加算
看護職員夜間配置加算	精神科急性期医師配置加算
療養環境加算	地域医療体制確保加算
重症者等療養環境特別加算	救命救急入院料1
無菌治療室管理加算1	特定集中治療室管理料1
無菌治療室管理加算2	新生児特定集中治療室管理料1
放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	小児入院医療管理料2
緩和ケア診療加算	特定機能病院リハビリテーション病棟入院料
精神科身体合併症管理加算	看護職員処遇改善評価料
精神科リエゾンチーム加算	入院時食事療養/生活療養(I)
摂食障害入院医療管理加算	
栄養サポートチーム加算	
医療安全対策加算1	
感染対策向上加算1	
患者サポート体制充実加算	
重症患者初期支援充実加算	
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
ハイリスク妊娠管理加算	

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
歯科治療時医療管理料	検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
在宅患者歯科治療時医療管理料	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
ウイルス疾患指導料	遺伝学的検査
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	染色体検査の注2に規定する基準
糖尿病合併症管理料	在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
がん性疼痛緩和指導管理料	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
がん患者指導管理料イ・ロ・ハ・ニ	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
外来緩和ケア管理料	遺伝学的検査
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	染色体検査の注2に規定する基準
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	有床義歯咀嚼機能検査1のイ
糖尿病透析予防指導管理料	有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力検査
小児運動器疾患指導管理料	有床義歯咀嚼機能検査2のイ
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	有床義歯咀嚼機能検査2のロ及び咬合圧検査
婦人科特定疾患治療管理料	精密触覚機能検査
腎代替療法指導管理料	骨髄微小残存病変量測定
一般不妊治療管理料	BRCA1/2遺伝子検査
生殖補助医療管理料2	がんゲノムプロファイリング検査
下肢創傷処置管理料	先天性代謝異常症検査
外来放射線照射診療料	抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
外来腫瘍化学療法診療料1	抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
ニコチン依存症管理料	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
がん治療連携計画策定料	検体検査管理加算(I)
肝炎インターフェロン治療計画料	検体検査管理加算(IV)
ハイリスク妊産婦連携指導料2	国際標準検査管理加算
こころの連携指導料(2)	遺伝カウンセリング加算
薬剤管理指導料	遺伝性腫瘍カウンセリング加算

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	頭部MRI撮影加算
胎児心エコー法	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	外来化学療法加算1
ヘッドアップティルト試験	無菌製剤処理料
人工臓器検査、人工臓器療法	心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
長期継続頭蓋内脳波検査	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
長期脳波ビデオ同時記録検査1	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
脳波検査判断料1	呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
神経学的検査	がん患者リハビリテーション料
補聴器適合検査	歯科口腔リハビリテーション料2
ロービジョン検査判断料	救急患者精神科継続支援料
コンタクトレンズ検査料1	認知療法・認知行動療法1
小児食物アレルギー負荷検査	抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
内服・点滴誘発試験	医療保護入院等診療料
経気管支凍結生検法	口腔粘膜処置
画像診断管理加算3	レーザー機器加算
歯科画像診断管理加算1	エタノールの局所注入(甲状腺)
歯科画像診断管理加算2	エタノールの局所注入(副甲状腺)
ポジトロン断層撮影	導入期加算2及び腎代替療法実績加算
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
CT撮影及びMRI撮影	手術用顕微鏡加算
冠動脈CT撮影加算	う蝕歯無痛的窩洞形成加算
外傷全身CT加算	心不全に対する遠赤外線温熱療法
心臓MRI撮影加算	CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー
乳房MRI撮影加算	手術時歯根面レーザー応用加算
小児鎮静下MRI撮影加算	歯科技工加算1及び2

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
センチネルリンパ節加算	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
椎間板内酵素注入療法	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
角結膜悪性腫瘍切除術	長短縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	胸腔鏡下弁形成術
緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	経カテーテル大動脈弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的動脈弁置換術)
網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	胸腔鏡下弁置換術
網膜再建術	経皮的僧帽弁クリップ術
経外耳道の内視鏡下鼓室形成術	不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	経皮的中隔心筋焼灼術
内視鏡下鼻・副鼻腔手術5型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術
喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	補助人工心臓
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)	経皮的下肢動脈形成術
乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
内視鏡的逆流防止粘膜切除術	人工尿道括約筋植込・置換術
内視鏡的逆流防止粘膜切除術	膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	精巣内精子採取術
腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	腹腔鏡下仙骨腔固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
腹腔鏡下肝切除術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	体外式膜型人工肺管理料
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮付属器腫瘍摘出術)
腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	輸血管管理料Ⅱ
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	自己クリオプレシピテート作製術(用手法)
内視鏡的小腸ポリープ切除術	同種クリオプレシピテート作製術
腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	歯周組織再生誘導手術
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
同種死体腎移植術	歯根端切除手術の注3
生体腎移植術	麻酔管理料(Ⅰ)
膀胱水圧拡張術	麻酔管理料(Ⅱ)





## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
(国大) SGLT2阻害薬による動脈硬化予防の多施設共同ランダム化比較試験	大石 充	心臓血管内科	200,000	委 佐賀大学医学部附属病院
(国大)心臓疾患のバイオマーカー開発のための心音データの共同利用システムの構築に関する研究	大石 充	心臓血管内科	1,650,000	委 国立大学法人熊本大学
高齢者コホートデータ人工知能解析によるフレイルネットワーク分析及び予後因子の同定	大石 充	心臓血管内科	2,470,000	補 日本学術振興会
【長寿研21-28】認知症の共生と予防に関するエビデンス構築研究	大石 充	心臓血管内科	300,000	委 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
【長寿研20-12】フレイル高齢者のレジストリ研究及びロコモ、サルコペニアを含めた病態解明及び予防介入法の確立を目指した臨床抗がん剤による心筋および骨格筋障害におけるミトコンドリアを介した機序の解明	大石 充	心臓血管内科	600,000	委 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
地域住民における脳血管疾患発症に対して効果的な血圧管理についての検討	大石 充	心臓血管内科	2,200,000	委 枕崎市立病院事業
抗がん剤による心筋および骨格筋障害におけるミトコンドリアを介した機序の解明	大石 充	心臓血管内科	500,000	委 肝属郡医師会立病院
垂水市の地域住民における健康教室と血圧管理への影響	大石 充	心臓血管内科	1,700,000	委 垂水中央病院
垂水市在住一般住民における前向きコホート研究	大石 充	心臓血管内科	340,140	委 垂水市
オルタナティブオートファジーとマクロファージを標的としたサルコペニア治療法の確立	池田 義之	心臓血管内科	910,000	補 日本学術振興会
肺高血圧症の進行抑制を目的としたフレイルサイクルの多角的評価と介入治療の検討	窪田 佳代子	心臓血管内科	1,040,000	補 日本学術振興会
心房細動患者の認知症予防に関する研究-脳血管障害・血管内皮機能障害との関連-	市来 仁志	心臓血管内科	1,430,000	補 日本学術振興会
抗がん剤による心筋および骨格筋障害に対するミトコンドリアを介した新規治療法の開発	赤崎 雄一	心臓血管内科	1,300,000	補 日本学術振興会
大動脈弁狭窄症における炎症、石灰化、凝固能に関するマイクロRNA、エクソソームの解析	曾我 欣治	心臓血管外科	1,000,000	委 肝属郡医師会立病院
大動脈弁狭窄症による全身血管変化の分子機序解明—ざり応力による血小板活性化の役割	上田 英昭	心臓血管外科	1,430,000	補 日本学術振興会
非切除腫瘍を対象とした腫瘍溶解性ウイルスの腫瘍内局所投与療法の有効性と安全性に関する医師主導治験	井戸章雄	消化器内科	76,096,517	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
生活習慣病が消化器疾患や腎疾患の病態進展に及ぼす影響に関する研究	井戸 章雄	消化器内科	1,000,000	委 高原病院
コピー数多型研究に基づいた腸管炎症の新たな重症化機序の解明	上村 修司	消化器内科	2,470,000	補 日本学術振興会
粘膜下層剥離面治療を促進するHGF含浸外用剤の開発	佐々木 文郷	消化器内科	400,000	補 日本学術振興会
肝細胞癌における腫瘍関連マクロファージに発現するGPNMBの役割	熊谷 公太郎	消化器内科	1,040,000	補 日本学術振興会
アルコール性肝障害における臓器連関の解析	馬渡 誠一	消化器内科	2,340,000	補 日本学術振興会
(地公)【大塚】リキッドバイオプシーによる癌免疫療法効果予測バイオマーカーの探索	大塚 隆生	消化器外科	2,000,000	委 えびの市
ゲノム医療が導く究極の癌予防法・予防的脾全摘術の適応患者とは？	大塚 隆生	消化器外科	5,590,000	補 日本学術振興会
IPMNはなぜ癌の危険因子なのか？クローン拡大から癌早期診断への挑戦	大塚 隆生	消化器外科	2,500,000	補 日本学術振興会
胃癌・食道癌に対する免疫チェックポイント阻害剤の治療効果予測バイオマーカーの探索研究	大塚 隆生	消化器外科	2,000,000	委 小林市立病院
癌の進展に対する診断の精度向上に関する研究	大塚 隆生	消化器外科	2,000,000	委 高原病院
切除不能進行・再発胃癌に対するニボルマブの治療効果予測バイオマーカーの探索研究	大塚 隆生	消化器外科	1,200,000	委 垂水中央病院
地域連携外科学共同研究講座	大塚 隆生	消化器外科	36,000,000	委 社会医療法人卓翔会市比野記念病院
血中循環腫瘍細胞を標的としたがん免疫療法効果予測バイオマーカーの開発と臨床応用	有上 貴明	消化器外科	780,000	補 日本学術振興会
(国大)【佐々木】CRP遺伝子多型解析による食道癌リンパ節転移リスク診断キットの開発	佐々木 健	消化器外科	66,000	委 国立大学法人秋田大学
消化器癌の分化・組織型の制御は可能か？3D培養を用いた分化転換に関する基礎研究	喜多 芳昭	消化器外科	2,080,000	補 日本学術振興会
リキッド・バイオプシーを用いた早期胃癌の術前リンパ節転移診断能向上への挑戦	松下 大輔	消化器外科	3,770,000	補 日本学術振興会
治療抵抗性マイクロRNA・オルガノイド解析に基づいた革新的癌治療戦略の確立	伊地知 徹也	消化器外科	1,300,000	補 日本学術振興会
Charcot-Marie-Tooth病の治療を見据えた分子遺伝学的研究	高嶋 博	脳神経内科	6,500,000	補 日本学術振興会
難治性神経疾患における免疫病態の解明と診断・治療法開発	高嶋 博	脳神経内科	400,000	委 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
自己免疫性脳炎・脳症に関する研究	高嶋 博	脳神経内科	1,300,000	委 出水市立病院機構(出水総合医療センター)
T細胞受容体レパトア解析によるHTLV-1関連脊髄症の新規バイオマーカーの研究	高嶋 博	脳神経内科	1,000,000	委 肝属郡医師会立病院
中枢神経感染症における感染性微生物の網羅的遺伝子解析研究	高嶋 博	脳神経内科	400,000	委 垂水中央病院
超早期治療による発症抑制を目指したHAM発症前炎症病態の診断に資する研究	松浦 英治	脳神経内科	2,210,000	補 日本学術振興会
原因不明脳炎の感染症診断に貢献するショットガンメタゲノム解析の新しい研究	崎山 佑介	脳神経内科	700,000	補 日本学術振興会
我が国で発見された遺伝性ニューロパチーの新規原因遺伝子から探る病態機序の解明	樋口 雄二郎	脳神経内科	2,080,000	補 日本学術振興会
グリオーマ遺伝子パネルによる日本人グリオーマ患者での網羅的ゲノム・エピゲノム解析	比嘉 那優大	脳神経内科	2,080,000	補 日本学術振興会
TCRレパトア解析によるHAMの診断および病勢指標となるバイオマーカーの探索	野妻 智嗣	脳神経内科	1,430,000	補 日本学術振興会
R言語を用いた次世代シーケンサーの網羅的解析パイプラインの構築	安藤 匡宏	脳神経内科	2,470,000	補 日本学術振興会
ミトコンドリア機能に着目した膠芽腫におけるHDAC7の機能解析	吉本 幸司	脳神経外科	1,950,000	補 日本学術振興会
小児タオパチーに伴うてんかん原性病変におけるてんかん原性獲得機序の解明	花谷 亮典	脳神経外科	1,170,000	補 日本学術振興会

自然リンパ球と脂質分子に注目した難治性喘息の病態解析	井上 博雅	呼吸器内科	1,690,000	補	日本学術振興会
重症喘息およびCOPD患者の地域特性に関連したコホート研究	井上 博雅	呼吸器内科	1,300,000	委	出水市立病院機構(出水総合医療センター)
小細胞肺癌の新規診断マーカーの開発	井上 博雅	呼吸器内科	750,000	委	肝属郡医師会立病院
治療抵抗性小細胞肺癌における機能性RNA統合理解を目指した分子探索	井上 博雅	呼吸器内科	300,000	委	垂水中央病院
(独法)【町田】フェノタイプ・エンドタイプに着目した本邦の喘息患者における3年間予後の検討	町田 健太郎	呼吸器内科	118,800	委	独立行政法人国立病院機構東京病院
小細胞肺癌の機能性RNA統合解析に基づくドラッグ・リポジショニングの考案	水野 圭子	呼吸器内科	650,000	補	日本学術振興会
TL1A/DR3シグナルを介したステロイド抵抗性のメカニズム	町田 健太郎	呼吸器内科	1,950,000	補	日本学術振興会
(国大)【内田】早期特発性肺線維症患者に対するニンテダニブ投与の有効性と安全性に関する解析	内田 章文	呼吸器内科	44,000	委	国立大学法人長崎大学
肥満喘息の難治化における時計遺伝子と生体内細菌叢の関わり	高木 弘一	呼吸器内科	1,690,000	補	日本学術振興会
機能性RNA統合理解に基づく治療抵抗性小細胞肺癌に関わる分子経路の探索	美園 俊祐	呼吸器内科	600,000	補	日本学術振興会
マイクロRNAを起点とした肺扁平上皮癌に関する分子経路と新規治療法の探索研究	内田 章文	呼吸器内科	780,000	補	日本学術振興会
癌関連間質細胞の機能獲得機構の網羅的解析に基づく標的分子の探索	佐藤 雅美	呼吸器外科	300,000	委	垂水中央病院
食行動異常のメカニズム解明・新規治療法開発-骨髄由来細胞からのアプローチ-	浅川 明弘	心身医療科	1,430,000	補	日本学術振興会
セルソーティングを応用した尿中マイクロRNA検出による新規尿路上皮癌診断法の開発	榎田 英樹	泌尿器科	1,300,000	補	日本学術振興会
治療抵抗性腎細胞癌におけるエクソソームを起点とした耐性獲得機序の解明	榎田 英樹	泌尿器科	2,000,000	委	小林市立病院
治療抵抗性腎細胞癌におけるエクソソームを起点とした耐性獲得機序の解明	榎田 英樹	泌尿器科	500,000	委	肝属郡医師会立病院
多面的アプローチによる膀胱がんのプライマリーレジスタンスを予測するマーカーの開発(継続)	榎田 英樹	泌尿器科	300,000	委	垂水中央病院
ユビキチンプロテアソーム経路を標的とした進行性腎細胞癌に対する新規治療戦略の構築	吉野 裕史	泌尿器科	910,000	補	日本学術振興会
骨髄増殖性腫瘍におけるnon-canonical変異の同定と臨床的特徴の検討	石塚 賢治	血液・膠原病内科	300,000	委	垂水中央病院
PROTAC技術を用いた成人T細胞白血病・リンパ腫に対する新規創薬基盤の樹立	吉満 誠	血液・膠原病内科	1,560,000	補	日本学術振興会
(独法)【西尾】電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-転写因子Nrf2の活性化を利用してグルコーススパイクによる血管傷害を予防する。	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	300,000	委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
枕崎地区における糖尿病重症化予防に関する研究	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,100,000	委	枕崎市立病院事業
高齢糖尿病症例に対するイミグリミンによる効果の検討	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,300,000	委	出水市立病院機構(出水総合医療センター)
インスリン注入用注射針と筋力低下の関連	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	250,000	委	肝属郡医師会立病院
高齢糖尿病症例に対するイミグリミンによる効果の検討	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	500,000	委	垂水中央病院
成人発症白質脳症における包括的変異解析及び抽出した新規変異の機能解析	石塚 貴周	神経科精神科	300,000	補	日本学術振興会
有棘赤血球舞蹈病に対するてんかん発作を生じる症状修飾因子の検討	崎元 仁志	神経科精神科	780,000	補	日本学術振興会
In vivoにおけるchoreinとオートファジーの関わり	佐々木 なつき	神経科精神科	1,690,000	補	日本学術振興会
COX-2阻害薬によるリンパ管奇形に対する新しい治療法の開発	岡本 康裕	小児科	2,080,000	補	日本学術振興会
枕崎地区における小児予防接種率向上と小児医療体制充実に関する研究	岡本 康裕	小児科	1,100,000	委	枕崎市立病院事業
出水地区における小児疾患の予防策と保健業務の推進に関する研究	岡本 康裕	小児科	2,600,000	委	出水市立病院機構(出水総合医療センター)
アクロレイン除去によるシクロフォスファミド心筋障害予防法の研究	西川 拓朗	小児科	1,690,000	補	日本学術振興会
若年性皮膚筋炎の全国前向きコホート研究	山崎 雄一	小児科	1,820,000	補	日本学術振興会
フォンタン循環における肺動脈狭窄の機序解明	川村 順平	小児科	1,690,000	補	日本学術振興会
核小体ストレス応答を利用した革新的な小児白血病治療の開発	中川 俊輔	小児科	2,210,000	補	日本学術振興会
網羅的シミュレータ開発による内視鏡外科手術オンラインコーチングシステム確立と実証	家入 里志	小児外科	9,100,000	補	日本学術振興会
Liquid Biopsyによる胆道閉鎖症の出生前診断と胎児治療の可能性探索	家入 里志	小児外科	1,500,000	補	日本学術振興会
ニースアセスメントにより国際格差を是正する小児内視鏡外科医育成プログラムの開発と世界展開	春松 敏夫	小児外科	750,000	委	公益財団法人 小児医学研究振興財団
拡散強調MRIテンソル解析による中枢神経発達を見据えた小児短腸患者新規栄養法開発	春松 敏夫	小児外科	910,000	補	日本学術振興会
縫合不全"0"を実現する高難度肝臓内視鏡外科手術シミュレータ開発	山田 耕嗣	小児外科	1,170,000	補	日本学術振興会
若年成人まで包含するLPECシミュレータ開発とテレシミュレーション教育の世界展開	村上 雅一	小児外科	1,820,000	補	日本学術振興会
(地公)特定診療医師派遣事業業務委託	小林 裕明	産科、婦人科	11,341,638	委	鹿児島県
鏡視下(ロボット支援、腹腔鏡)子宮体癌手術におけるセンチネルリンパ節ナビゲーション手術	小林 裕明	産科、婦人科	1,300,000	委	出水市立病院機構(出水総合医療センター)
婦人科癌手術の個別化医療に向けたセンチネルリンパ節理論の解明と分子病理診断の応用	戸上 真一	産科、婦人科	520,000	補	日本学術振興会
婦人科癌へのHPMA-ZnPPを用いた光線力学的治療の臨床応用にに向けた検討	築詰 伸太郎	産科、婦人科	520,000	補	日本学術振興会
(地公)【内田】不妊専門相談支援推進研究	内田 那津子	産科、婦人科	631,015	委	鹿児島県
脊椎後縦靭帯骨化症原因候補遺伝子CDC5LのRNAスプライシング機能の解析	谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	500,000	委	肝属郡医師会立病院
menopause handsにおけるSirt1の機能解析	佐々木 裕美	整形外科・リウマチ外科	1,430,000	補	日本学術振興会
がん患者終末期における予後予測分子マーカーの検索	篠原 直弘	整形外科・リウマチ外科	1,560,000	補	日本学術振興会
メルトン欠乏に起因した側弯症の病態解明:原因候補遺伝子Tbx1との機能解析	河村 一郎	整形外科・リウマチ外科	1,690,000	補	日本学術振興会

CD147/basiginを標的とした乾癬の新規治療の開発	金蔵 拓郎	皮膚科	1,560,000	補	日本学術振興会
HDAC阻害剤によるテロシキナーゼの活性化とCTCLの新規治療への応用	藤井 一恭	皮膚科	1,040,000	補	日本学術振興会
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	坂本 泰二	眼科	16,000,000	補	厚生労働省
眼球内細胞学の確立:基礎から臨床までのシームレスな研究	坂本 泰二	眼科	6,370,000	補	日本学術振興会
北薩地区における成人眼疾患の概要	坂本 泰二	眼科	1,300,000	委	出水市立病院機構(出水総合医療センター)
鹿児島県内(おもに肝属地区)の眼科疾患の概要	坂本 泰二	眼科	500,000	委	肝属郡医師会立病院
垂水地区における小中学生の眼疾患の疫学的調査	坂本 泰二	眼科	800,000	委	垂水中央病院
走査型レーザー眼鏡による網膜毛細血管瘤の非侵襲的で特異的な検出と糖尿病黄斑浮腫治療への臨床応用	寺崎 寛人	眼科	1,000,000	委	公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
眼底写真を用いた性別判定および疾患進行・発症予測	山下 高明	眼科	1,300,000	補	日本学術振興会
AMPKを介した抗酸化作用を有する新規機能性単糖による加齢黄斑変性の予防と治療	寺崎 寛人	眼科	1,040,000	補	日本学術振興会
屋久島町における耳鼻咽喉科疾患の疫学的調査	山下 勝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	732,000	委	屋久島町
高齢者の鼻出血症例の検討	山下 勝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	600,000	委	垂水中央病院
高齢者の肺炎球菌感染予防のためのホスホリルコリン経系追加ワクチンの開発	宮本 佑美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,820,000	補	日本学術振興会
細胞形態を可視化する先進的MRIによる脳腫瘍診断法の開発	吉浦 敬	放射線科	1,820,000	補	日本学術振興会
CEST画像による肺癌の分子イメージングとこれを用いた非造影腫瘍MR診断法の確立	福倉 良彦	放射線科	2,080,000	補	日本学術振興会
血行再建術後の脳機能再構築:マルチパラメトリックMRIに基づく画像マーカーの創設	上村 清央	放射線科	1,300,000	補	日本学術振興会
18F-FDGの速度定数画像に基づく心サルコイドーシスの活動性評価法の開発	中條 正豊	放射線科	1,300,000	補	日本学術振興会
血流動態画像解析と人工知能による肺癌術後血栓形成メカニズム解明と予測モデルの開発	内匠 浩二	放射線科	1,820,000	補	日本学術振興会
Dual energy CTの定量画像指標に基づく椎間板変性症診断法の開発	中條 正典	放射線科	2,600,000	補	日本学術振興会
低酸素誘導因子を標的とした放射線耐性口腔癌新規治療戦略の確立に向けて	宮腰 昌明	顎顔面放射線科	1,430,000	補	日本学術振興会
アスタキサンチンは敗血症性腎障害の新規治療薬となりえるか?	森山 孝宏	麻酔科	910,000	補	日本学術振興会
インビボ神経イメージングによる敗血症関連脳症に関与する大脳神経回路同定と治療戦略	中原 真由美	麻酔科	2,210,000	補	日本学術振興会
オプトジェネティクスをもちいた麻酔薬による術後認知障害の機序の解明	向原 桂香	麻酔科	910,000	補	日本学術振興会
神経障害性疼痛が慢性化すると脊髄後角における疼痛メカニズムは変化するのか?	五代 幸平	麻酔科	1,040,000	補	日本学術振興会
三叉神経領域の痛覚日内変動機構の解明	杉村 光隆	歯科麻酔科	780,000	補	日本学術振興会
バイオマーカー、心拍変動解析および加速度脈波を用いた左室拡張機能の推定法の確立	靴谷 淳	歯科麻酔科	780,000	補	日本学術振興会
聴覚を介した自律神経変動の管理による高血圧患者の安全な歯科治療環境の創造	山下 薫	歯科麻酔科	1,170,000	補	日本学術振興会
霊長類脳梗塞片麻痺モデルを用いた新たなリハビリテーションと脳・神経可塑性の研究	下堂 蘭 恵	リハビリテーション科	4,810,000	補	日本学術振興会
摂食嚥下障害に対する神経筋電気刺激の安全性および効果の検討:介入前後比較試験	下堂 蘭 恵	リハビリテーション科	300,000	委	垂水中央病院
上肢に対する振動刺激が脳皮質活動に与える影響-磁気脳による検討	河村 健太郎	リハビリテーション科	1,430,000	補	日本学術振興会
脳卒中による神経因性膀胱の病態解明と経皮的干渉波刺激を用いた非侵襲的治療開発	大濱 倫太郎	リハビリテーション科	910,000	補	日本学術振興会
カンジダ菌による口腔粘膜炎症における先天性免疫因子DMBT1の関与	於保 孝彦	口腔保健科	1,560,000	補	日本学術振興会
口腔常時菌による血流感染の発症機構に基づいた医科歯科連携による高度管理方法の構築	山口 泰平	口腔保健科	780,000	補	日本学術振興会
口腔バイオフィルムの動脈硬化誘発における病原性獲得メカニズムの解明	長田 恵美	口腔保健科	1,430,000	補	日本学術振興会
異なる口腔環境より採取したカンジダ菌の性状解析に基づく新規誤嚥性肺炎予防法の開発	藤島 慶	口腔保健科	1,560,000	補	日本学術振興会
ペイジアンネットワークによる周術期口腔機能管理がもたらす有効性の可視化	鶴田 実穂	口腔保健科	1,300,000	補	日本学術振興会
頭頸部がん放射線治療時の歯科金属冠への対処方法の比較研究 歯科金属冠除去 vs スペーサー作製	基 敏裕	口腔保健科	300,000	委	基 敏裕(公益財団法人 富徳会)
新たな食道疾患の発症機序の解明:不正咬合と咀嚼筋障害に起因する口腔機能低下の影響	宮脇 正一	矯正歯科	1,430,000	補	日本学術振興会
炎症性メディエーターの動態が食道知覚の変化とブラキシズムの発症に与える影響の解明	前田 綾	矯正歯科	1,040,000	補	日本学術振興会
胃内と口腔内の常在細菌叢、ブラキシズム及び胃食道逆流との関連性の解明	丸谷 佳菜子	矯正歯科	260,000	補	日本学術振興会
ストレスが食道の知覚過敏と覚醒時ブラキシズムに及ぼす影響の解明	福嶋 美佳	矯正歯科	260,000	補	日本学術振興会
顎顔面形態異常や不正咬合に関連する咀嚼筋障害が骨格筋力の低下に及ぼす影響の解明	中川 祥子	矯正歯科	2,080,000	補	日本学術振興会
食道知覚過敏が中枢性感作を介してブラキシズムと顎関節症関連疼痛に与える影響の解明	大賀 泰彦	矯正歯科	1,300,000	補	日本学術振興会
口腔常在細菌叢メタゲノム解析によるオーダーメイドのう蝕予防法の開発	渡邊 温子	矯正歯科	2,210,000	補	日本学術振興会
自動埋入型骨固定装置を利用した骨のメカニカルストレス受容の解明	小柳 宏太郎	矯正歯科	1,950,000	補	日本学術振興会
小型3Dカメラを応用した新規摂食嚥下機能検査システムの開発	佐藤 秀夫	小児歯科	390,000	補	日本学術振興会
歯の再生を目指したヒト乳歯歯髄幹細胞濃縮と機能解析	稲田 絵美	小児歯科	1,560,000	補	日本学術振興会
最適化医療を実現する小児の口呼吸鑑別診断システムの構築	村上 大輔	小児歯科	1,170,000	補	日本学術振興会
上顎急速拡大は鼻腔通気傷害を改善するか?	伴 祐輔	小児歯科	1,430,000	補	日本学術振興会
口唇口蓋裂児の鼻腔・口腔細菌叢は呼吸器疾患の発症に関連するか?	辻井 利弥	小児歯科	2,600,000	補	日本学術振興会
小児の上気道通気障害は摂食嚥下機能の発達に影響するか?	山本 祐士	小児歯科	1,430,000	補	日本学術振興会

小計53件

上顎急速拡大による鼻腔通気障害の改善効果向上に関する流体力学的研究	柳澤 彩佳	小児歯科	1,430,000	補	日本学術振興会
2021年度「国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプログラム)さくら招へいプログラム代替オンライン交流」	西谷 佳浩	保存科	598,510	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
LIPUSを併用したBMP9と脱分化脂肪細胞による新規歯周・骨組織再生療法の開発	野口 和行	歯周病科	1,300,000	補	日本学術振興会
In situ組織工学アプローチによる真の歯周組織再生獲得に向けた治療基盤の確立	白方 良典	歯周病科	1,690,000	補	日本学術振興会
BMP-9による顎骨・歯周組織再生の効率化に向けた微小環境コントロールの基盤確立	中村 利明	歯周病科	1,430,000	補	日本学術振興会
BMP-9/MTAハイブリッド型直接覆髄剤を用いた新規象牙質再生療法の基盤確立	川上 克子	歯周病科	650,000	補	日本学術振興会
妊娠性糖尿病に関わる口腔環境因子の検索とそのメカニズムの解明に関する包括的研究	長谷川 梢	歯周病科	2,080,000	補	日本学術振興会
C-DFATと成長因子のコンビネーションによる歯周組織再生療法の樹立	篠原 敬哉	歯周病科	1,690,000	補	日本学術振興会
歯周組織の修復および再生におけるGDF6の機能解析	瀬名 浩太郎	歯周病科	2,080,000	補	日本学術振興会
顎骨間葉系幹細胞を用いた再生医療実現のための基盤研究	西村 正宏	義歯インプラント科	6,500,000	補	日本学術振興会
摂食機能評価に基づいた栄養食事指導の有効性と体組成改善への影響の検討	西 恭宏	義歯インプラント科	1,430,000	補	日本学術振興会
顎骨骨髄間質細胞を用いた顎骨再生医療のための骨形成能診断法の開発	末廣 史雄	義歯インプラント科	1,430,000	補	日本学術振興会
口腔保湿剤を用いた新規口腔カンジダ症の治療戦略	村上 格	義歯インプラント科	1,170,000	補	日本学術振興会
人工骨-粘膜複合体による新規顎堤再建法の開発	益崎 与泰	義歯インプラント科	1,560,000	補	日本学術振興会
高齢ドナー顎骨由来MSCを用いたSASP抑制による高度顎堤吸収治療法の開発研究	原田 佳枝	義歯インプラント科	1,560,000	補	日本学術振興会
歯科受診患者の特性による口腔機能低下と身体的フレイルの関連	峰元 洋光	義歯インプラント科	1,820,000	補	日本学術振興会
口腔癌の統合的リアルタイムモニタリングの社会実装の為の検証研究および治療への応用	杉浦 剛	口腔外科	6,110,000	補	日本学術振興会
薩摩川内市鹿島町における住民の口腔疾患の保健管理に関する研究	杉浦 剛	口腔外科	1,000,000	委	薩摩川内市(鹿島診療所)
長島町における住民の口腔疾患に関する調査研究	杉浦 剛	口腔外科	1,000,000	委	長島町(鷹巣診療所)
バクテリオファージを用いたARONJに対する新規治療法の創出	比地岡 浩志	口腔外科	520,000	補	日本学術振興会
口腔・大腸マイクロバイオーム解析による大腸がんリスク診断および予防概念の創生	後藤 雄一	口腔外科	1,430,000	補	日本学術振興会
唾液中の可溶性分子を用いたシェーグレン症候群の病因解析と新たな診断方法の開発	田中 昭彦	口腔外科	1,040,000	補	日本学術振興会
口腔癌個別化療法における骨髄由来免疫抑制細胞を標的としたバイオマーカーの開発	別府 真広	口腔外科	1,170,000	補	日本学術振興会
口腔癌シングルセル解析による転移原因遺伝子・遺伝子修飾の検索	松村 吉晃	口腔外科	1,300,000	補	日本学術振興会
フレイルやサルコペニアの改善因子としての口腔機能低下症に対する有用性の検討	中村 麻弥	口腔外科	1,430,000	補	日本学術振興会
リアルタイム音声可視化システムを応用した視覚フィードバック口蓋裂言語訓練法の開発	中村 典史	口腔顎顔面外科	2,990,000	補	日本学術振興会
顎骨骨髄炎発症要因における歯原性細胞と細胞極性調節因子相互作用の解析	石畑 清秀	口腔顎顔面外科	910,000	補	日本学術振興会
片側性唇裂に対する術後3Dシミュレーション画像の開発	大河内 孝子	口腔顎顔面外科	1,430,000	補	日本学術振興会
血管新生誘導マイクロ粒子の応用とWntを標的とした薬剤関連顎骨壊死の新規治療戦略	岐部 俊郎	口腔顎顔面外科	780,000	補	日本学術振興会
音声可視化システムを用いた客観的評価に基づく口蓋裂術後の異常構音の病態解明	手塚 征宏	口腔顎顔面外科	910,000	補	日本学術振興会
運動による口腔癌発症・転移の制御のメカニズムとしてのmyokineの関与	吉村 卓也	口腔顎顔面外科	1,170,000	補	日本学術振興会
新規アルゴリズムを応用した唇裂患者の三次元顔面対称性評価法の確立と予測モデル構築	野元(木村) 菜美子	口腔顎顔面外科	780,000	補	日本学術振興会
血管内皮増殖因子が免疫抑制に関わる機構～腫瘍免疫と正常免疫との差異とは？	竹之内 和則	検査部	2,080,000	補	日本学術振興会
糖尿病を母体とする肝細胞癌発症機序の解明—VEGFを分子標的とした戦略	中島 一壽	検査部	1,430,000	補	日本学術振興会
生体自家蛍光の機序解明と術中イメージングシステム開発へ向けた基礎研究	新田 吉陽	手術部	1,000,000	補	日本学術振興会
電子密度画像を用いた血栓マップの開発と血栓症の診断・治療効果予測法の確立	長野 広明	放射線部	1,950,000	補	日本学術振興会
高齢者における心房細動の早期発見と心原性脳塞栓症予防に関する研究	入来 泰久	救命救急センター(救急科)	800,000	補	日本学術振興会
神経学的予後向上を目指したFIP再現モデル作成による予防的治療法開発	杉田 光士郎	救命救急センター(救急科)	1,430,000	補	日本学術振興会
血小板輸血の臨床判断を補助するための多角的止血機能評価法の構築	中 弁護	集中治療部	1,000,000	補	日本学術振興会
ECMO回路閉塞における炎症と凝固の包括的制御戦略	二木 貴弘	集中治療部	1,100,000	補	日本学術振興会
水素ガス吸入療法による薬剤性肝障害に対する新規治療法の開発とそのメカニズムの解明	政所 祐太郎	集中治療部	1,100,000	補	日本学術振興会
(独法)HIV診療医師情報網支援事業	古川 良尚	輸血・細胞治療部	198,000	委	独立行政法人国立病院機構九州医療センター
(地)HIV感染者等保健福祉相談事業	古川 良尚	輸血・細胞治療部	750,000	委	公益財団法人エイズ予防財団
川崎病急性期におけるHMGB-1の制御を目的とした分子標的治療の開発	上野 健太郎	周産母子センター	130,000	補	日本学術振興会
IGF-1&EPAIによる腸管不全の肝障害・腸管順応Dual Therapyの開発	武藤 充	周産母子センター	600,000	補	日本学術振興会
周術期の摂食条件が体内時計に与える影響:遺伝子改変マウスを用いた時間生物学的解析	大野 幸	全身管理歯科治療部	520,000	補	日本学術振興会
エクソソーム中miRNAを起点とした治療抵抗性膀胱癌に対する新規治療戦略の探索	山田 保俊	血液浄化療法部	1,300,000	補	日本学術振興会
新規口腔癌特異的遺伝子であるSTOX2の機能解明と診断・治療への応用の探索	笹平 智則	病理部(病理診断科)	1,560,000	補	日本学術振興会
膵胆管系腫瘍の早期診断と治療の為のバイオマーカー探索	東 美智代	病理部(病理診断科)	1,430,000	補	日本学術振興会
腫瘍免疫環境に着目した、膵癌に対する腫瘍溶解ウイルスの病態解析	橋元 慎一	光学医療診療部	1,690,000	補	日本学術振興会
(他)【夏越】再発危険因子を有するハイリスクStageII結腸がん治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法	盛 真一郎	光学医療診療部	11,000	委	公益財団法人がん集学的治療研究財団

小計53件

(大学)【夏越】腹腔鏡下直腸癌手術後の縫合不全予防に対する近赤外光観察を用いた腸管血流評価の有効性に関するランダム	盛 真一郎	光学医療診療部	20,000	委	北海道公立大学法人札幌医科大学
(独法)【盛】内視鏡外科手術の多施設データベース構築	盛 真一郎	光学医療診療部	280,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター
運動による肝臓と脳の臓器連関とそのメカニズムの解明	吉田 輝	リハビリテーション部	1,170,000	補	日本学術振興会
新たな歯科医師臨床研修制度における評価方法の構築に向けた基礎研究	田口則宏	歯科総合診療部	2,006,000	補	厚生労働省
アウトカム基盤型教育における統合型コンピテンシー評価システムの開発	田口 則宏	歯科総合診療部	780,000	補	日本学術振興会
地域基盤型医療に貢献する歯科医療人養成のための多職種連携教育プログラムの構築	吉田 礼子	歯科総合診療部	1,170,000	補	日本学術振興会
歯学生の地域志向性を涵養する効果的な地域歯科医療教育法の開発	大戸 敬之	歯科総合診療部	1,170,000	補	日本学術振興会
新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン	上野 真一	腫瘍センター	2,390,000	補	国立大学法人九州大学
生体内ゲノム編集を利用したHTLV-1を標的にする新規抗ウイルス療法	鈴木 紳介	腫瘍センター	1,300,000	補	日本学術振興会
(地公)肝炎診療地域連携体制強化事業業務委託	井戸 章雄	肝炎相談センター	13,125,000	委	鹿児島県
(法人)令和3年度肝炎情報センター戦略的強化事業委託費に係る契約書について	井戸 章雄	肝炎相談センター	3,728,000	委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
老年症候群の受容体連関とミトコンドリア質管理を軸とした機序解明及び治療法開発	佐々木 雄一	緩和ケアセンター	1,170,000	補	日本学術振興会
独自開発・革新性能の増殖制御型アデノウイルスの骨腫瘍(希少・難治性がん)承認への第Ⅱ相臨床試験	小賤健一郎	探索的医療開発センター	100,100,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
骨軟部腫瘍を制圧できる全身性癌免疫誘導の革新的な免疫遺伝子・ウイルス治療の開発	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	5,590,000	補	日本学術振興会
増殖型ウイルス/CAR-T融合による革新的な癌免疫遺伝子・細胞治療技術の創出	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	2,000,000	補	日本学術振興会
地域包括ケアシステムにおける認知症患者の地域トータルケア量計算モデルの開発	岩穴口 孝	医療情報部	910,000	補	日本学術振興会
行動解析に基づく中心静脈カテーテル挿入手技の標準化に向けたトレーニングの開発	加治 建	総合臨床研修センター	1,040,000	補	日本学術振興会
短腸症の腸管順応獲得を可能にする消化管ホルモンのコンビネーション治療の開発	山田 和歌	総合臨床研修センター	800,000	補	日本学術振興会
小児腸管内バイオフィーム形成大腸菌が薬剤耐性遺伝子の水平伝播を促進する機構の解明	西 順一郎	感染制御部	1,430,000	補	日本学術振興会
(地公)鹿児島県てんかん地域診療連携体制整備事業	花谷 亮典	地域医療連携センター	57,000	委	鹿児島県
HTLV-1キャリアにおける全死リスクに対する防御要因に関する研究	嶽崎 俊郎	地域医療支援センター	2,990,000	補	日本学術振興会
地域枠医学生離島・へき地医療実習等業務委託	大脇 哲洋	地域医療支援センター	2,128,301	委	鹿児島県
2021年度課題別研修「島嶼地域における地域保健から学ぶ生活習慣病対策」(遠隔研修)研修コース	嶽崎 俊郎	地域医療支援センター	473,540	委	独立行政法人国際協力機構九州センター
(公益財団)【看護部長】「患者満足度調査」「職員やりがい度調査」を活用した質改善支援セミナーに係る業務委託	宮園 幸江	看護部	89,018	委	公益財団法人日本医療機能評価機構
地域における看護実践力向上のための連携型シミュレーション教育	田中 久美子	看護部	520,000	補	日本学術振興会
Ca1DAG-GEF1の止血分子メカニズム解明と新規機能の探索	古城 剛	臨床技術部	1,690,000	補	日本学術振興会
「血小板内シグナル伝達と巨核球分化」2つに機能するPBX2分子の新規機構の解明	小濱 祐行	臨床技術部	1,000,000	補	日本学術振興会
肺MAC症の慢性肉芽形成時のマクロファージ機能変化解明—microRNAの役割	郡山 豊泰	臨床技術部	1,690,000	補	日本学術振興会
活性化凝固第Ⅹ因子阻害薬内服患者のトロンビン阻害薬濃度偽陽性となるメカニズム解明	中村 政敏	臨床技術部	1,040,000	補	日本学術振興会
心房細動アブレーション後の心房リバースリモデリング機序解明	波野 史典	臨床技術部	700,000	補	日本学術振興会
脊髄小脳変性症患者に対する新たな神経リハビリテーション創出への調査研究	原田 太樹	臨床技術部	470,000	補	日本学術振興会
(地公)地域医療支援センター設置事業業務委託	大脇 哲洋	地域医療支援センター	21,747,000	委	地域医療支援センター
NIRSによる心停止時の適切な胸骨圧迫を評価する生理学的モニタリング法の構築	垣花 泰之	救命救急センター	1,170,000	補	日本学術振興会
敗血症関連脳症におけるメラトニンとテトラヒドロピオプテリンのクロストーク解析	新山 修平	救命救急センター	1,690,000	補	日本学術振興会

小計52件

小計27件

合計234件

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Yuichi Ninomiya 1, Shin Kawasoe 2, Takuro Kubozono 2, et al.	心臓血管内科	Sex-specific relationship between abdominal obesity and new-onset atrial fibrillation in the general Japanese population	Heart Vessels . 2021 Dec;36(12):1879-1884.	Original Article
2	Yuichi Ninomiya 1 2, Koichi Inoue 1, Nobuaki Tanaka 1, et al.	心臓血管内科	Absence of first-pass isolation is associated with poor pulmonary vein isolation durability and atrial fibrillation ablation outcomes	J Arrhythm . 2021 Sep 6;37(6):1468-1476.	Original Article
3	Takuro Kubozono 1, Yuichi Akasaki 2, Shin Kawasoe 2, et al.	心臓血管内科	The relationship between home blood pressure measurement and room temperature in a Japanese general population	Hypertens Res . 2021 Apr;44(4):454-463.	Original Article
4	Takuro Kubozono 1, Yuichi Akasaki 2, Shin Kawasoe 2, et al.	心臓血管内科	The relationship between day-to-day variability in home blood pressure measurement and multiple organ function	Hypertens Res . 2022 Mar;45(3):474-482.	Original Article
5	Daisuke Kanda 1, Masaaki Miyata 1, Yoshiyuki Ikeda 1, et al.	心臓血管内科	The Priority of Non-HDL-C Assessment to Predict New Lesions among Stable Angina Patients with Strong Statins	J Atheroscler Thromb . 2022 Jun 1;29(6):894-905.	Original Article
6	Yoshiyuki Ikeda	心臓血管内科	Measurement of Nutritional Status as Frailty Severity is Indispensable to Treat Patients with Chronic Limb-Threatening Ischemia	J Atheroscler Thromb . 2022 Feb 1;29(2):150-151.	Others
7	Toshinori Yuasa 1, Mitsuru Ohishi 2	心臓血管内科	Additional benefits of evaluating short-term blood pressure variability: recommendation of twice-daily home blood pressure measurement	Hypertens Res . 2022 Jan;45(1):175-177.	Others
8	Akira Hiwatashi 1, Kosuke Mukaihara 2, Kazuya Terazono 2, et al.	心臓血管外科	Prosthetic vascular graft rupture caused by claw-type rib fixation strut: a case report	Gen Thorac Cardiovasc Surg . 2021 Nov;69(11):1502-1505.	Case report
9	Kosuke Mukaihara 1, Munekazu Yamakuchi 2, Hideaki Kanda 1, et al.	心臓血管外科	Evaluation of VEGF-A in platelet and microRNA-126 in serum after coronary artery bypass grafting	Heart Vessels . 2021 Nov;36(11):1635-1645.	Original Article
10	Shuji Kanmura 1, Yuko Morinaga 1, Akihito Tanaka 1, et al.	消化器内科	Increased Gene Copy Number of DEFA1A3 Is Associated With the Severity of Ulcerative Colitis	Clin Transl Gastroenterol . 2021 Apr 6;12(4):e00331.	Original Article
11	Fumisato Sasaki 1, Shuji Kanmura 1, Kohei Oda 1, et al.	消化器内科	Acetaldehyde breath test as a cancer risk marker in patients with esophageal and hypopharyngeal squamous cell carcinoma	PLoS One . 2021 May 19;16(5):e0251457.	Original Article
12	Seiichi Mawatari 1, Kotaro Kumagai 1, Kohei Oda 1, et al.	消化器内科	Features of patients who developed hepatocellular carcinoma after direct-acting antiviral treatment for hepatitis C Virus	PLoS One . 2022 Jan 12;17(1):e0262267.	Original Article
13	Shiho Arima 1, Machiko Kawahira 1, Mototsugu Shimokawa, et al.	消化器内科	Gemcitabine Plus Nab-Paclitaxel Versus FOLFIRINOX in Locally Advanced, Unresectable Pancreatic Cancer: A Multicenter Observational Study (NAPOLEON Study)	Pancreas . 2021 Aug 1;50(7):957-964.	Original Article

小計13件

14	Sho Ijuin 1, Kohei Oda 1, Seiichi Mawatari 1, Ohki Taniyama 1, et al.	消化器内科	Serine palmitoyltransferase long chain subunit 3 is associated with hepatocellular carcinoma in patients with NAFLD	Mol Clin Oncol . 2022 Feb;16(2):55.	Original Article
15	Matsuoka S, Maeda H, Sasaki F, et al.	消化器内科	The Effects of Prior Esophagogastroduodenoscopy on Cecal Insertion in Same-Visit Bidirectional Endoscopy: A Pilot Study.	Medical Journal of Kagoshima University. 2022 Feb	Original Article
16	Hiroshi Kurahara 1, Yuko Mataki 2, Tetsuya Idichi 2, et al.	消化器外科	Effectiveness of Adjuvant Therapy in Patients with Pancreatic Cancer Who Underwent Neoadjuvant Therapy	Ann Surg Oncol . 2021 Oct;28(11):6238-6245.	Original Article
17	Daisuke Matsushita 1, Yoshikazu Uenosono 2, Takaaki Arigami 2, et al.	消化器外科	Clinical significance of circulating tumor cells in the response to trastuzumab for HER2-negative metastatic gastric cancer	Cancer Chemother Pharmacol . 2021 Jun;87(6):789-797.	Original Article
18	Takaaki Arigami 1, Daisuke Matsushita 2, Keishi Okubo 2, et al.	消化器外科	Prognostic Significance of HER2 Expression for Gastric Cancer With Clinically Para-aortic Lymph Node Metastasis	Anticancer Res . 2021 Jun;41(6):3099-3107.	Original Article
19	Takaaki Arigami 1, Daisuke Matsushita 2, Keishi Okubo 2, et al.	消化器外科	Prognostic impact of surgery after chemotherapy for type 4 gastric cancer	Surg Today . 2021 Nov;51(11):1851-1859.	Original Article
20	Yuto Hozaka 1, Naohiko Seki 2, Takako Tanaka 1, et al.	消化器外科	Molecular Pathogenesis and Regulation of the miR-29-3p-Family: Involvement of ITGA6 and ITGB1 in Intra-Hepatic Cholangiocarcinoma	Cancers (Basel) . 2021 Jun 4;13(11):2804.	Original Article
21	Yota Kawasaki 1, Satoshi Iino, Yoichi Yamasaki, et al.	消化器外科	Useful Technique for Creating a Good Liver Parenchymal Visual Transection Plane During Laparoscopic Partial Hepatectomy	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech . 2021 Aug 9;32(1):41-45.	Original Article
22	Yuto Hozaka 1, Hiroshi Kurahara 1, Hideyuki Oi 1, et al.	消化器外科	Clinical Utility and Limitation of Diagnostic Ability for Different Degrees of Dysplasia of Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms of the Pancreas Using 18 F-Fluorodeoxyglucose-Positron Emission Tomography/Computed Tomography	Cancers (Basel) . 2021 Sep 15;13(18):4633.	Original Article
23	Yuto Hozaka 1, Yoshiaki Kita 1, Ryutaro Yasudome 1, et al.	消化器外科	RNA-Sequencing Based microRNA Expression Signature of Colorectal Cancer: The Impact of Oncogenic Targets Regulated by miR-490-3p	Int J Mol Sci . 2021 Sep 13;22(18):9876.	Original Article
24	Takaaki Arigami 1, Daisuke Matsushita 2, Keishi Okubo 2, et al.	消化器外科	Changes in Chemotherapeutic Strategies and Their Prognostic Impact in Patients With Advanced Gastric Cancer	In Vivo . 2022 Jan-Feb;36(1):409-415.	Original Article
25	Yujiro Higuchi 1, Masahiro Ando 1, Akiko Yoshimura 1, et al.	脳神経内科	Prevalence of Fragile X-Associated Tremor/Ataxia Syndrome in Patients with Cerebellar Ataxia in Japan	Cerebellum . 2021 Sep 9.	Original Article
26	Masahiro Ando 1, Yujiro Higuchi 2, Mika Takeuchi 2, et al.	脳神経内科	The first case of infantile-onset multisystem neurologic, endocrine, and pancreatic disease caused by novel PTRH2 mutation in Japan	Neurol Sci . 2022 Mar;43(3):2133-2136.	Case report
27	Yujiro Higuchi 1, Hiroshi Takashima 2	脳神経内科	Clinical genetics of Charcot-Marie-Tooth disease	J Hum Genet . 2022 Mar 18.	Review
28	Shingo Fujio 1 2 3 4, Tareq A Juratli 1 2 5, Tomoko Takajo 3, et al.	脳神経外科	Craniopharyngiomas, including Recurrent Cases, Lack TERT Promoter Hotspot Mutations	Neurol Med Chir (Tokyo) . 2021 Jun 15;61(6):385-391.	Original Article

29	Hajime Yonezawa 1, Makoto Ohno 1, Hiroshi Igaki 2, et al.	脳神経外科	Outcomes of salvage fractionated re-irradiation combined with bevacizumab for recurrent high-grade gliomas that progressed after bevacizumab treatment*	Jpn J Clin Oncol . 2021 Jul 1;51(7):1028-1035.	Original Article
30	Keiko Mizuno 1, Kengo Tanigawa 1, Shunsuke Misono, et al.	呼吸器内科	Regulation of Oncogenic Targets by Tumor-Suppressive miR-150-3p in Lung Squamous Cell Carcinoma	Biomedicines . 2021 Dec 11;9(12):1883.	Original Article
31	Takahiro Matsuyama 1, Kentaro Machida 1, Yasutaka Motomura 2 3, et al.	呼吸器内科	Long-acting muscarinic antagonist regulates group 2 innate lymphoid cell-dependent airway eosinophilic inflammation	Allergy . 2021 Sep;76(9):2785-2796.	Original Article
32	Kentaro Jingushi # 1, Masaya Aoki # 2, Kazuhiro Ueda 2, et al.	呼吸器外科	ALKBH4 promotes tumourigenesis with a poor prognosis in non-small-cell lung cancer	Sci Rep . 2021 Apr 21;11(1):8677.	Original Article
33	Masaya Aoki 1, Licun Wu 1, Junichi Murakami 1, et al.	呼吸器外科	IRF3 Knockout Results in Partial or Complete Rejection of Murine Mesothelioma	J Clin Med . 2021 Nov 7;10(21):5196.	Original Article
34	Marie Amitani # 1, Haruka Amitani # 2, Hajime Suzuki 3, et al.	心身医療科	Application of objective structured clinical examination (OSCE) for the evaluation of Kampo medicine training	BMC Med Educ . 2022 Mar 25;22(1):202.	Original Article
35	Haruhito Yoshimine 1, Shiroh Tanoue 2, Yutaro Ibi 1, et al.	腎臓内科	Hepatocyte growth factor ameliorates methylglyoxal-induced peritoneal inflammation and fibrosis in mouse model	Clin Exp Nephrol . 2021 Sep;25(9):935-943.	Original Article
36	Shuichi Tatarano 1, Hideki Enokida 2, Masaya Yonemori 1, et al.	泌尿器科	Significance of preoperative screening of deep vein thrombosis and its indications for patients undergoing urological surgery	Investig Clin Urol . 2021 Mar;62(2):166-171.	Original Article
37	Motoki Tamai 1, Shuichi Tatarano 1, Shunsuke Okamura 1, et al.	泌尿器科	microRNA-99a-5p induces cellular senescence in gemcitabine-resistant bladder cancer by targeting SMARCD1	Mol Oncol . 2022 Mar;16(6):1329-1346.	Original Article
38	Kenji Ishitsuka 1	血液・膠原病内科	Diagnosis and management of adult T-cell leukemia/lymphoma	Semin Hematol . 2021 Apr;58(2):114-122.	Review
39	Makoto Yoshimitsu 1 2, Katsunori Tofuku 3, Daisuke Ikeda 3, et al.	血液・膠原病内科	Cardiac Involvement of Adult T Cell Leukemia/Lymphoma	Intern Med . 2022 Apr 1;61(7):1055-1057.	Case report
40	Ayako Nagata 1, Yoshiaki Shinden 2, Yuki Nomoto 1, et al.	乳腺・甲状腺外科	Metastasis of breast cancer to the right kidney with a tumor thrombus in the inferior vena cava: a case report	Surg Case Rep . 2022 Jan 17;8(1):13.	Case report
41	Akane Terasaki 1, Masayuki Nakamura 2, Yuka Urata 1, et al.	神経科精神科	DNA analysis of benign adult familial myoclonic epilepsy reveals associations between the pathogenic TTTCA repeat insertion in SAMD12 and the nonpathogenic TTTTA repeat expansion in TNRC6A	J Hum Genet . 2021 Apr;66(4):419-429.	Original Article
42	Junpei Kawamura 1, Kentaro Ueno 1, Koji Takumi 2, et al.	小児科	Four-Dimensional Flow Magnetic Resonance Imaging in the Evaluation of Intracardiac Oxygenation in an Infant With a Single Ventricle	Circ J . 2021 Dec 24;86(1):166.	Case report
43	Yuichi Yamasaki 1, Norimoto Kobayashi 2, Shinji Akioka 3, et al.	小児科	Clinical impact of myositis-specific autoantibodies on long-term prognosis of juvenile idiopathic inflammatory myopathies: multicentre study	Rheumatology (Oxford) . 2021 Oct 2;60(10):4821-4831.	Original Article
44	Haruna Otakeyama-Kakimoto 1, Yasuko Ogiwara 2, Norikazu Ota 3, et al.	小児科	Rapid Hypercalciuria Induction With Bone Formation Marker Reduction During Immobilization in Children	Endocr Pract . 2021 Oct;27(10):998-1003.	Original Article

45	Shintaro Yanazume 1, Takashi Ushiwaka 1, Honami Yorouki 1, et al.	周産母子センター	Zinc supplementation during chemotherapy for gynecological malignancy	J Obstet Gynaecol Res . 2021 Nov;47(11):3998-4004.	Original Article
46	Mikihisa Onigahara 1, Shintaro Yanazume 1, Takashi Ushiwaka 1, et al.	産科、婦人科	Importance of Cervical Elongation Assessment for Laparoscopic Sacrocolpopexy	Gynecol Minim Invasive Ther . 2021 Apr 30;10(2):127-131.	Case report
47	Shintaro Yanazume 1, Takashi Ushiwaka 1, Mika Fukuda 1, et al.	周産母子センター	The use of bevacizumab is correlated with improved post-progression survival in advanced recurrent ovarian cancer	Jpn J Clin Oncol . 2021 Aug 30;51(9):1407-1415.	Original Article
48	Yusuke Kobayashi 1, Ikumi Kitazono 2, Toshiaki Akahane 2 3, et al.	産科、婦人科	Molecular Evaluation of Endometrial Dedifferentiated Carcinoma, Endometrioid Carcinoma, Carcinosarcoma, and Serous Carcinoma Using a Custom-Made Small Cancer Panel	Pathol Oncol Res . 2021 Dec 23;27:1610013.	Original Article
49	Kazuyasu Fujii 1	皮膚科	Pathogenesis of cutaneous T cell lymphoma: Involvement of Staphylococcus aureus	J Dermatol . 2022 Feb;49(2):202-209.	Review
50	Kazuyasu Fujii 1, Akiko Arimura, Atsuko Ibusuki, et al.	皮膚科	Microcystic Adnexal Carcinoma with Xanthomatous Reaction	Acta Derm Venereol . 2021 Apr 26;101(4):adv00436.	Case report
51	Miho Hatanaka 1, Kazuyasu Fujii 1, Hiroshi Hamada 2, et al.	皮膚科	Common variable immunodeficiency disclosed by recurrent impetigo	J Dermatol . 2021 Jul;48(7):e335-e336.	Case report
52	Miho Hatanaka 1, Kazuyasu Fujii 1, Takuro Kanekura 1	皮膚科	Successful treatment of pyoderma gangrenosum, acne, and suppurative hidradenitis syndrome with granulocyte and monocyte adsorption apheresis	J Dermatol . 2021 Aug;48(8):e376-e377.	Case report
53	Kazuyasu Fujii 1, Masashi Idogawa 2, Norihiro Suzuki 3, et al.	皮膚科	Functional Depletion of HSP72 by siRNA and Quercetin Enhances Vorinostat-Induced Apoptosis in an HSP72-Overexpressing Cutaneous T-Cell Lymphoma Cell Line, Hut78	Int J Mol Sci . 2021 Oct 19;22(20):11258.	Original Article
54	Aoi Okubo 1, Youhei Uchida 1, Yuko Higashi 1, et al.	皮膚科	CD147 Is Essential for the Development of Psoriasis via the Induction of Th17 Cell Differentiation	Int J Mol Sci . 2021 Dec 24;23(1):177.	Original Article
55	Hisao Kawahira 1, Kazuyasu Fujii 1, Tomokazu Yonezawa 2, et al.	皮膚科	Acquired smooth muscle hamartoma of the scrotum	J Dermatol . 2022 Jan;49(1):e20-e21.	Case report
56	Kazuyasu Fujii 1, Takuro Kanekura 1	皮膚科	Surgical excision: An option for a resectable lesion of cutaneous type adult T-cell leukemia/lymphoma	J Dermatol . 2022 Feb;49(2):e50-e52.	Case report
57	Ryoh Funatsu 1 2, Hiroto Terasaki 1 2, Hideki Shiihara 1 2, et al.	眼科	Quantitative evaluations of vortex vein ampullae by adjusted 3D reverse projection model of ultra-widefield fundus images	Sci Rep . 2021 Apr 26;11(1):8916.	Original Article
58	Masanori Nakazawa 1, Hitoshi Ishikawa 2, Taiji Sakamoto 3	眼科	Current understanding of the epidemiologic and clinical characteristics of optic neuritis	Jpn J Ophthalmol . 2021 Jul;65(4):439-447.	Review
59	Takato Sakono 1, Hiroto Terasaki 1, Shozo Sonoda 1. et al.	眼科	Comparison of multicolor scanning laser ophthalmoscopy and optical coherence tomography angiography for detection of microaneurysms in diabetic retinopathy	Sci Rep . 2021 Aug 23;11(1):17017.	Original Article

60	Hideki Shihara 1, Shozo Sonoda 1 2, Hiroto Terasaki 1, et al.	眼科	QUANTIFICATION OF VESSELS OF HALLER'S LAYER BASED ON EN-FACE OPTICAL COHERENCE TOMOGRAPHY IMAGES	Retina . 2021 Oct 1;41(10):2148-2156.	Original Article
61	Ryoh Funatsu 1, Hiroto Terasaki 1, Taiji Sakamoto 2, et al.	眼科	Regional and sex differences in retinal detachment surgery: Japan-retinal detachment registry report	Sci Rep . 2021 Oct 18;11(1):20611.	Original Article
62	Hiroto Terasaki # 1, Takehiro Yamashita # 1, Ryo Asaoka 2 3 4 5, et al.	眼科	Sex Differences in Rate of Axial Elongation and Ocular Biometrics in Elementary School Students	Clin Ophthalmol . 2021 Oct 27;15:4297-4302.	Original Article
63	Taiji Sakamoto 1, Masahiko Shimura 2, Shigehiko Kitano 3, et.al.	眼科	Impact on visual acuity and psychological outcomes of ranibizumab and subsequent treatment for diabetic macular oedema in Japan (MERCURY)	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol . 2022 Feb;260(2):477-487.	Original Article
64	Terasaki H, Yamashita T, Funatsu R, et al.	眼科	Ocular factors related to preoperative enlargement of idiopathic macular hole diameter.	Retina. 2022 March 28; 00:1-7.	Original Article
65	Hiroyuki Iuchi 1, Junichiro Ohori 2, Satoshi Kiyama 2, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Effectiveness of antibacterial agents against cell-invading bacteria such as Streptococcus pyogenes and Haemophilus influenzae	BMC Microbiol . 2021 May 14;21(1):148.	Original Article
66	Hiroyuki Iuchi 1, Junichiro Ohori 1, Yumi Ando 1, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Utility of the High-Sensitivity Modified Glasgow Prognostic Scores for Oropharyngeal Carcinoma	OTO Open . 2021 Sep 21;5(3):2473974X211042302.	Original Article
67	Hiroyuki Iuchi 1, Junichiro Ohori 1, Hisahiro Matsuzaki 1, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Utility of the Modified and High-Sensitivity Modified Glasgow Prognostic Scores for Hypopharyngeal Squamous Cell Carcinoma	OTO Open . 2021 Dec 15;5(4):2473974X211067423.	Original Article
68	Koji Takumi 1, Hiroto Hakamada 2, Hiroaki Nagano 2, et al.	放射線科	Usefulness of dual-layer spectral CT in follow-up examinations: diagnosing recurrent squamous cell carcinomas in the head and neck	Jpn J Radiol . 2021 Apr;39(4):324-332.	Original Article
69	Masatoyo Nakajo 1, Kazuhiro Kitajima 2, Akira Torihara 3, et al.	放射線科	A pilot study on EORTC or PERCIST for the prediction of progression-free survival with nivolumab therapy in advanced or metastatic gastric cancers: A STROBE-compliant article	Medicine (Baltimore) . 2021 Apr 16;100(15):e25494.	Original Article
70	Masanori Nakajo # 1, Manisha Bohara # 1, Kiyohisa Kamimura 1, et al.	放射線科	Correlation between amide proton transfer-related signal intensity and diffusion and perfusion magnetic resonance imaging parameters in high-grade glioma	Sci Rep . 2021 May 27;11(1):11223.	Original Article
71	Masatoyo Nakajo 1, Megumi Jinguji 2, Atsushi Tani 2, et al.	放射線科	Application of a machine learning approach to characterization of liver function using 99m Tc-GSA SPECT/CT	Abdom Radiol (NY) . 2021 Jul;46(7):3184-3192.	Original Article
72	Yoshihiko Fukukura 1, Yuichi Kumagae 1, Yosuke Fujisaki 1, et al.	放射線科	Adding Delayed Phase Images to Dual-Phase Contrast-Enhanced CT Increases Sensitivity for Small Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	AJR Am J Roentgenol . 2021 Oct;217(4):888-897.	Original Article
73	Masatoyo Nakajo 1, Megumi Jinguji 2, Atsushi Tani 2, et al.	放射線科	Application of a Machine Learning Approach for the Analysis of Clinical and Radiomic Features of Pretreatment [ 18 F]-FDG PET/CT to Predict Prognosis of Patients with Endometrial Cancer	Mol Imaging Biol . 2021 Oct;23(5):756-765.	Original Article
74	Kiyohisa Kamimura 1, Masanori Nakajo 1, Manisha Bohara 1, et al.	放射線科	Consistency of Pituitary Adenoma: Prediction by Pharmacokinetic Dynamic Contrast-Enhanced MRI and Comparison with Histologic Collagen Content	Cancers (Basel) . 2021 Aug 3;13(15):3914.	Original Article

75	Yoshihiko Fukukura 1, Yuichi Kumagae 2, Yosuke Fujisaki 2, et al.	放射線科	Extracellular volume fraction with MRI: As an alternative predictive biomarker to dynamic contrast-enhanced MRI for chemotherapy response of pancreatic ductal adenocarcinoma	Eur J Radiol . 2021 Dec;145:110036.	Original Article
76	Masatoyo Nakajo 1, Megumi Jinguji 2, Atsushi Tani 2, et al.	放射線科	Machine learning based evaluation of clinical and pretreatment 18 F-FDG-PET/CT radiomic features to predict prognosis of cervical cancer patients	Abdom Radiol (NY) . 2022 Feb;47(2):838-847.	Original Article
77	Hiroaki Nagano 1, Koji Takumi 1, Masatoyo Nakajo 1, et al.	放射線科	Dual-Energy CT-Derived Electron Density for Diagnosing Metastatic Mediastinal Lymph Nodes in Non-Small Cell Lung Cancer: Comparison With Conventional CT and FDG PET/CT Findings	AJR Am J Roentgenol . 2022 Jan;218(1):66-74.	Original Article
78	Kohei Godai 1	麻酔科	What are mechanisms of re-sedation caused by remimazolam?	J Anesth . 2021 Jun;35(3):466.	Letter
79	Kaoru Yamashita 1, Akari Uto 2, Minako Uchino 3, et al.	歯科麻酔科	Sympathetic Nerve Activity During Tooth Extraction in Women Is Related to Dental Anxiety Immediately After Surgery	J Oral Maxillofac Surg . 2021 Nov;79(11):2268.e1-2268.e5.	Original Article
80	Yurina Higa # 1 2, Hideki Kashiwadani # 3, Mitsutaka Sugimura 2, et al.	歯科麻酔科	Orexinergic descending inhibitory pathway mediates linalool odor-induced analgesia in mice	Sci Rep . 2021 Apr 29;11(1):9224.	Original Article
81	Ayako Niuro 1, Sachi N Ohno 1, Kanae A Yamagata 1, et al.	歯科麻酔科	Diurnal Variation in Trigeminal Pain Sensitivity in Mice	Front Neurosci . 2021 Aug 2;15:703440.	Original Article
82	Yuki Kojima 1, Shusei Yoshimine 2, Mitsutaka Sugimura 2	歯科麻酔科	Flow sensor fault during induction	Can J Anaesth . 2021 Sep;68(9):1440-1441.	Letter
83	Atsuko Watanabe 1, Miki Kawada-Matsuo 2 3, Mi Nguyen-Tra Le 2 3, et al.	矯正歯科	Comprehensive analysis of bacteriocins in Streptococcus mutans	Sci Rep . 2021 Jun 21;11(1):12963.	Original Article
84	Maeda-Iino A, Nakagawa S, Nakamura N, et al.	矯正歯科	An adolescent patient with bilateral cleft lip and palate treated with late bone grafting and edgewise appliance for mesial movement of the maxillary molars and improvement of the retroclined maxillary central incisor	Am J Orthod Dentofacial Orthop Clinical Companion. 2021 June;1(1):55-72.	Case report
85	Emi Inada 1, Issei Saitoh 2 3, Naoko Kubota 1, et al.	小児歯科	RNA analysis based on a small number of manually isolated fixed cells (RNA-snMIFxC) to profile stem cells from human deciduous tooth-derived dental pulp cells	Biol Proced Online . 2021 Jun 11;23(1):12.	Original Article
86	Inada E, Saitoh I, Kaihara Y, Yamasaki Y	小児歯科	Factors related to mouth-breathing syndrome and the influence of an incompetent lip seal on facial soft tissue form in children.	Pediatric Dental Journal. 2021 April; 31: 1-10	Review
87	Yoshihiro Nishitani, Naoya Kurahashi, Masahiro Heima, et al.	保存科	Application of Terahertz waves for dental treatment.	Journal of Oral Tissue Engineering. 2021.9.30,19(1), 15-20	Original Article
88	Tamaki Katsumata 1, Mi Nguyen-Tra Le 2, Miki Kawada-Matsuo 2, et al.	保存科	Comprehensive characterization of sortase A-dependent surface proteins in Streptococcus mutans	Microbiol Immunol . 2022 Mar;66(3):145-156.	Original Article

小計14件

89	Yoshinori Shirakata 1, Toshiaki Nakamura 1, Yoshiko Kawakami 1, et al.	歯周病科	Healing of buccal gingival recessions following treatment with coronally advanced flap alone or combined with a cross-linked hyaluronic acid gel. An experimental study in dogs	J Clin Periodontol . 2021 Apr;48(4):570-580.	Original Article
90	Yukari Ebe 1, Toshiaki Nakamura 2, Kozue Hasegawa-Nakamura 2, et al.	歯周病科	Effect of interleukin-1 $\beta$ on bone morphogenetic protein-9-induced osteoblastic differentiation of human periodontal ligament fibroblasts	Eur J Oral Sci . 2021 Aug;129(4):e12792 .	Original Article
91	Takatomo Imafuji 1, Yoshinori Shirakata 2, Yukiya Shinohara 1, et al.	歯周病科	Enhanced bone formation of calvarial bone defects by low-intensity pulsed ultrasound and recombinant human bone morphogenetic protein-9: a preliminary experimental study in rats	Clin Oral Investig . 2021 Oct;25(10):5917-5927.	Original Article
92	Kotaro Sena 1, Kirara Furue 2, Fumiaki Setoguchi 3, et al.	歯周病科	Altered expression of SARS-CoV-2 entry and processing genes by Porphyromonas gingivalis-derived lipopolysaccharide, inflammatory cytokines and prostaglandin E 2 in human gingival fibroblasts	Arch Oral Biol . 2021 Sep;129:105201.	Original Article
93	Fumio Suehiro 1, Naohiro Komabashiri 1, Tomohiro Masuzaki 1, et al.	義歯インプラント科	Efficacy of bone grafting materials in preserving the alveolar ridge in a canine model	Dent Mater J . 2022 Apr 1;41(2):302-308.	Original Article
94	Yusuke Yamashita 1, Yasuhiro Nishi 1, Mamoru Murakami 2, et al.	義歯インプラント科	Impact of Surface Changes and Microbial Adhesion on Mucosal Surface Finishing of Resin Denture Bases by Shot Blast Polishing Using Viscoelastic Media	Materials (Basel) . 2022 Mar 19;15(6):2275.	Original Article
95	Maya Nakamura 1, Tomofumi Hamada 1 2, Akihiko Tanaka 1, et al.	口腔外科	Association of Oral Hypofunction with Frailty, Sarcopenia, and Mild Cognitive Impairment: A Cross-Sectional Study of Community-Dwelling Japanese Older Adults	J Clin Med . 2021 Apr 12;10(8):1626.	Original Article
96	Yoshinori Uchino 1, Yuichi Goto 1, Yusuke Konishi 2, et al.	口腔外科	Colorectal Cancer Patients Have Four Specific Bacterial Species in Oral and Gut Microbiota in Common-A Metagenomic Comparison with Healthy Subjects	Cancers (Basel) . 2021 Jul 2;13(13):3332.	Original Article
97	Keitaro Nishi 1, Hiroaki Kanouchi 2, Akihiko Tanaka 1, et al.	口腔外科	Relationship between Oral Hypofunction, and Protein Intake: A Cross-Sectional Study in Local Community-Dwelling Adults	Nutrients . 2021 Dec 7;13(12):4377.	Original Article
98	Takuya Yoshimura 1, Hajime Suzuki 1, Hiroataka Takayama 1, et al.	口腔顎顔面外科	Prognostic Role of Preoperative Sarcopenia Evaluation of Cervical Muscles with Long-Term Outcomes of Patients with Oral Squamous Cell Carcinoma	Cancers (Basel) . 2021 Sep 21;13(18):4725.	Original Article
99	Toshiro Kibe 1, Aya Maeda-Iino 2, Tetsu Takahashi 3, et al.	口腔顎顔面外科	A Follow-Up Study on the Clinical Outcomes of Alveolar Reconstruction Using Octacalcium Phosphate Granules and Atelocollagen Complex	J Oral Maxillofac Surg . 2021 Dec;79(12):2462-2471.	Original Article
100	Masahiro Tezuka 1, Yuhei Kamikuri 1, Kiyohide Ishihata 2, et al.	口腔顎顔面外科	Comparison of recurrence rate and speech outcome between two different techniques for cleft palatal fistula closure: A retrospective cohort study	J Craniomaxillofac Surg . 2022 Jan;50(1):86-92.	Original Article
101	Takuya Yoshimura 1, Shotaro Higashi 1, Sohshuke Yamada 2, et al.	口腔顎顔面外科	PCP4/PEP19 and HER2 Are Novel Prognostic Markers in Mucoepidermoid Carcinoma of the Salivary Gland	Cancers (Basel) . 2021 Dec 23;14(1):54.	Original Article
102	Kenta Nakazono 1, Mi Nguyen-Tra Le 2 3, Miki Kawada-Matsuo 2 3, et al.	口腔顎顔面外科	Complete sequences of epidermin and nukacin encoding plasmids from oral-derived Staphylococcus epidermidis and their antibacterial activity	PLoS One . 2022 Jan 18;17(1):e0258283 .	Original Article

103	Kiyonori Tanoue 1, Yota Kawasaki 2, Yoichi Yamasaki 1, et al.	検査部	Postoperative recurrence with right cervical lymph node metastasis in hepatocellular carcinoma: a case report	Surg Case Rep . 2021 Dec 17;7(1):260.	Case report
104	Kiyonori Tanoue 1, Yuko Mataka 1, Hiroshi Kurahara 2, et al.	検査部	Multidisciplinary treatment of advanced or recurrent solid pseudopapillary neoplasm of the pancreas: three case reports	Surg Case Rep . 2022 Jan 10;8(1):7.	Case report
105	Go Kamimura 1 2, Kazuhiro Ueda 2, Soichi Suzuki 2, et al.	手術部	A case of intradiaphragmatic bronchogenic cyst with an abnormally high serum level of CA19-9	Respirol Case Rep . 2021 Sep 23;9(10):e0838.	Case report
106	Koji Nakae 1, Kentaro Ueno 1, Mizuki Moriyama 1, et al.	周産母子センター	Low-molecular-weight heparin for asymptomatic cerebral sinovenous thrombosis in a neonate	Pediatr Int . 2021 Nov;63(11):1388-1390.	Original Article
107	Koji Nakae 1, Tadasuke Ooka 2, Koichi Murakami 3, et al.	周産母子センター	Diversification of Escherichia albertii H-Antigens and Development of H-Genotyping PCR	Front Microbiol . 2021 Nov 1;12:737979.	Original Article
108	Kentaro Ueno 1, Yuichi Nomura 2, Yasuko Morita 1, et al.	周産母子センター	Prednisolone Suppresses the Extracellular Release of HMGB-1 and Associated Inflammatory Pathways in Kawasaki Disease	Front Immunol . 2021 May 17;12:640315.	Original Article
109	Ikumi Kitazono 1, Yusuke Kobayashi 2, Toshiaki Akahane 3, et al.	病理部(病理診断科)	ATM immunohistochemistry as a potential marker for the differential diagnosis of no specific molecular profile subtype and POLE-mutation subtype endometrioid carcinoma	Pathol Res Pract . 2022 Feb;230:153743.	Original Article
110	Mari Kirishima 1, Toshiaki Akahane 1 2, Nayuta Higa 3, et al.	病理部(病理診断科)	Integrated diagnosis of adult-type glioma according to 2021 World Health Organization classification: Analysis of 184 cases using a custom-made next-generation sequencing panel	Pathol Int . 2022 Mar;72(3):207-210.	Letter
111	Ikumi Kitazono 1, Toshiaki Akahane 1 2, Yusuke Kobayashi 3, et al.	病理部(病理診断科)	Pelvic Carcinosarcoma Showing a Diverse Histology and Hierarchical Gene Mutation with a Common POLE Mutation to Endometrial Endometrioid Carcinoma: A Case Report	Int J Surg Pathol . 2022 Mar 31;10668969221088880.	Case report
112	Mari Kirishima 1, Ikuma Kato 2, Masanori Hisaoka 3, et al.	病理部(病理診断科)	Solid endobronchial tumor with EWSR1-FLI1 fusion gene - A diagnostically challenging case of the Ewing sarcoma	Pathol Int . 2021 Jul;71(7):488-490.	Letter
113	Takashi Tasaki 1, Kazuhito Hatanaka 2, Ikumi Kitazono 1, et al.	病理部(病理診断科)	Pulmonary infarction caused by sarcoidosis vascular involvement: A case report	Pathol Int . 2021 Jul;71(7):480-484.	Case report
114	Ikumi Kitazono 1, Toshiaki Akahane 1 2, Mika Sakihama 1, et al.	病理部(病理診断科)	Human Papilloma Virus 18-Positive Submucosal Small Cell Neuroendocrine Carcinoma of the Vagina: An Immunohistochemical and Genomic Study	Int J Surg Pathol . 2021 Dec;29(8):870-876.	Case report
115	Hirotsugu Noguchi 1, Michiyo Higashi 1, Tetsuya Idichi 2, et al.	病理部(病理診断科)	Rare histological subtype of invasive micropapillary carcinoma in the ampulla of Vater: A case report	World J Clin Cases . 2021 Apr 16;9(11):2671-2678.	Case report
116	Tomonori Sasahira 1, Miyako Kurihara-Shimomura 2 3, Hiroyuki Shimomura 2 3, et al.	病理部(分子口腔病理学)	Identification of oral squamous cell carcinoma markers MUC2 and SPRR1B downstream of TANGO	J Cancer Res Clin Oncol . 2021 Jun;147(6):1659-1672.	Original Article
117	Tomonori Sasahira 1 2, Miyako Kurihara-Shimomura 3 4, Hiroyuki Shimomura 3 4, et al.	病理部(分子口腔病理学)	SERPINE2 is an oral cancer-promoting factor that induces angiogenesis and lymphangiogenesis	Int J Clin Oncol . 2021 Oct;26(10):1831-1839.	Original Article

118	Tomonori Sasahira 1, Miyako Kurihara-Shimomura 2, Yudai Shimojukkoku 1, et al.	病理部(分子口腔病理学)	Searching for New Molecular Targets for Oral Squamous Cell Carcinoma with a View to Clinical Implementation of Precision Medicine	J Pers Med . 2022 Mar 7;12(3):413.	Review
119	Kazuaki Tabu 1, Seiichi Mawatari 1, Kohei Oda 1, et al.	臨床研究管理センター	Highly sensitive Lens culinaris agglutinin-reactive fraction of $\alpha$ -fetoprotein is a predictive marker for hepatocarcinogenesis in long-term observation of patients with chronic liver disease	Mol Clin Oncol . 2021 Sep;15(3):174.	Original Article
120	Shinichi Hashimoto 1, Hiromichi Iwaya 1, Shiroh Tanoue 1, et al.	光学医療診療部	Salvage endoscopic ultrasound-guided rendezvous technique for disconnected pancreatic duct syndrome in a patient with severe acute pancreatitis	Endoscopy . 2021 Apr;53(4):450-451.	Case report
121	Aya Takeda 1, Kazuhiro Ueda 1, Masaya Aoki 1, et al.	総合臨床研修センター	Altered lymphatic structure and function in pleural anthracosis: negative role in skip N2 metastasis	Eur J Cardiothorac Surg . 2022 Feb 25;ezac123.	Original Article
122	Kosaku Hatanaka 1, Takashi Ito 2, Yutaro Madokoro 1, et al.	看護部 (ICU)	Circulating Syndecan-1 as a Predictor of Persistent Thrombocytopenia and Lethal Outcome: A Population Study of Patients With Suspected Sepsis Requiring Intensive Care	Front Cardiovasc Med . 2021 Sep 7;8:730553.	Original Article
123	Takayuki Takahashi 1, Hideyuki Terazono 1, Takayuki Suetsugu 2,	薬剤部	High-Trough Plasma Concentration of Afatinib Is Associated with Dose Reduction	Cancers (Basel) . 2021 Jul 8;13(14):3425.	Original Article
124	Ryuichi Maenosono 1, Naoko Mizukami 1, Hitoshi Ichiki 2, et al.	臨床技術部(臨床検査部門)	Total atrial conduction time as a possible predictor of atrial fibrillation recurrence after catheter ablation for paroxysmal atrial fibrillation: relationship between electrical atrial remodeling and structural atrial remodeling time courses	J Med Ultrason (2001) . 2021 Jul;48(3):295-306.	Original Article
125	Keisuke Natsume 1 2, Harutoshi Sakakima 2, Kentaro Kawamura 1, et al.	臨床技術部(リハビリテーション部門)	Factors Influencing the Improvement of Activities of Daily Living during Inpatient Rehabilitation in Newly Diagnosed Patients with Glioblastoma Multiforme	J Clin Med . 2022 Jan 14;11(2):417.	Original Article
126	Kodai Miyara 1 2, Seiji Etoh 3, Kentaro Kawamura 3, et al.	臨床技術部(リハビリテーション部門)	Effects of lower limb segmental muscle vibration on primary motor cortex short-latency intracortical inhibition and spinal excitability in healthy humans	Exp Brain Res . 2022 Jan;240(1):311-320.	Original Article

小計9件

合計126件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.と

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること

(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

## (2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	安村拓人、荒田憲一、 下石光一郎、他	心臓血管外科	膝関節屈曲による膝下膝窩動脈人工血管 バイパスの変形狭窄、閉塞に対し金属ステ ント留置を行い、再閉塞予防を行った1例	日本血管外科学会 雑誌. 2022 Jan; 31: 1-5	Case report
2	井戸章雄、谷山央樹	消化器内科	肝疾患と自然免疫の関わり	専門医のための消 化器病学. 2021 Nov; 第3版第1刷 422-424.	Others
3	谷山央樹、熊谷公太 郎、井戸章雄	消化器内科	4 開発中の肝再生医療(8) HGFを用い た肝再生医療の開発	臨床消化器内科. 2021 Nov; 36(13): 1695-1699	Review
4	南幸次、平島忠寛、新 田吉陽、他	消化器外科	甲状腺手術における頸部郭清術「甲状 腺内視鏡手術における頸部郭清術」	日本内分泌・甲状 腺外科学会雑誌; 38(4):12-16, 2022.2.22	Review
5	堂嶽洋一、榎博晃、富 岡勇也、他	呼吸器内科	縦隔リンパ節のEBUS-TBNA後に気管内腫 瘍が出現した非小細胞肺癌の1例.	気管支支.2021 Nov;43(6):608-613	Case report
6	吉嶺陽仁、小田耕平、 井戸章雄	腎臓内科	DKDとNAFLD	月刊 糖尿病 DIABETES 糖尿病 とNAFLD/NASH. 2021 Jul; 13(7): 43-47	Others
7	石塚賢治	血液・膠原病内科	HTLV-1/ATLの最前線 ATL治療の 新たな展開	臨床血液, 62(7), 766-773(2021.07)	Review
8	石塚賢治	血液・膠原病内科	悪性リンパ腫アップデート	日本内科学会雜 誌, 111(3), 566- 571(2022.03)	Review
9	石塚賢治	血液・膠原病内科	RINKETSU Dictionary HDAC阻害薬	臨床血液, 63(3), 234(2022.03)	Review
10	西尾善彦	糖尿病・内分泌内科	糖尿病大血管障害の病態	日本体質医学会雜 誌 2022年2月 84 巻1号p.45-48	Review
11	西尾善彦	糖尿病・内分泌内科	糖尿病内科と眼科の連携 糖尿病網 膜症に対する血圧・脂質管理の意義	糖尿病合併症 2021年8月 35巻2 号 p211-214	Review
12	川村順平、野村裕一、 塩川直宏、他	小児科	鹿児島市学校心臓検診スクリーニング システム精度の検討.	日本小児循環器学 会雑誌 2021 Aug ;37(2):96-103	Original Article
13	小林裕明	産科、婦人科	【ロボット手術の今、そしてこれから】婦 人科ロボット手術の今、そしてこれから	医学と薬学78巻1 号	Original Article
14	牛若昂志、黒田高史、 福田美香、他	産科、婦人科	広汎子宮全摘出術後膀胱腫に対する Modified Martius Flapを用いた経腔的 修復術の1例	産婦人科手術32 号 2021.06	Case report
15	崎濱ミカ、唐木田智子、 内田那津子、他	産科、婦人科	胎盤ポリープに対して周産的エストロゲ ン・プロゲステロン配合薬(EP)投与によ る待機療法で自然排出に至った症例	日本女性医学学会 雑誌29巻 2021.10	Case report
16	酒瀬川琢、内田那津 子、永野大河、他	産科、婦人科	精子回収が困難であった精巣腫瘍の1 例	日本生殖医学会雜 誌66巻4号 2021.10	Case report
17	小林裕明	産科、婦人科	ロボット支援手術の最新エビデンス 婦 人科ロボット手術保険適用拡大に向け て傍大動脈リンパ節郭清を伴うデュア ルドッキング手術の試み	日本内視鏡外科学 会雑誌26巻7号 2021.12	Review
18	小林裕明	産科、婦人科	ロボット支援骨盤リンパ節郭清の各科 横断的標準化を目指して 骨盤リンパ 節郭清に関する婦人科と他科の相違	日本内視鏡外科学 会雑誌26巻7号 2021.12	Original Article
19	戸上真一、牛若昂志、 泉明延、他	産科、婦人科	低侵襲手術における子宮体癌に対す るリンパ節摘出の意義と方法 ダヴィン チXiシステムを用いた子宮体が膨大 動脈リンパ節郭清	日本内視鏡外科学 会雑誌26巻7号 2021.12	Review
20	牛若昂志、徳留明夫、 泉明延、他	産科、婦人科	骨盤臓器脱に対するAllograftを用いた ロボット支援仙骨靭帯固定術の試み	日本産科婦人科内 視鏡学会雑誌37 巻 2021.09	Review
21	神尾真樹、小林裕明	産科、婦人科	鏡視下悪性腫瘍を修練する若手への メッセージ 婦人科ロボット悪性腫瘍手 術に若手医師が取り組む際の留意点	日本産科婦人科内 視鏡学会雑誌37 巻 2021.09	Original Article
22	小林裕明	産科、婦人科	子宮頸がん患者の悲劇とHPVワクチン による予防の重症性	徳島産婦人科医報 2021.12	Review
23	小林裕明	産科、婦人科	卵巣癌に到来したPrecision Medicine 時代におけるBevacizumabの位置づけ	産婦人科の進歩73 巻2号 2021.05	Original Article
24	藤井一恭	皮膚科	【皮膚悪性腫瘍(第2版)下-基礎と臨床 の最新研究動向-】皮膚リンパ腫 皮膚 リンパ腫の診断と治療 菌状息肉症 臨床症状と予後	日本臨床皮膚悪 性腫瘍(下): 2021Jul; 79(3) : 450-4	Review

計24件

25	藤井一恭	皮膚科	【皮膚悪性腫瘍(第2版)下-基礎と臨床の最新研究動向-】皮膚リンパ腫 皮膚リンパ腫の診断と治療 菌状息肉症 早期病変の診断と類似疾患との鑑別 皮膚リンパ腫の最新治療	日本臨床皮膚悪性腫瘍(下): 2021Jul; 79 (3) : 455-9	Review
26	藤井一恭	皮膚科		Skin Cancer :2021 Oct; 36(2) : 144-	Review
27	藤井一恭	皮膚科	【皮膚リンパ腫の病態、診断と治療】疫学調査からわかる本邦の皮膚リンパ腫	皮膚科: 2022 May; 1(3): 306-17	Review
28	東裕子、青山裕美、中原真希子、他	皮膚科	第2回皮膚科医の勤務状況に関する実態調査報告	日本皮膚科学会雑誌;2021 Apr; 131 (4): 655-69	Others
29	金蔵拓郎	皮膚科	【解説】日本アフェレシス学会 診療ガイドライン2021 膿疱性乾癬、乾癬性関節炎、掌蹠膿疱症	日本アフェレシス学会雑誌; 2021 May; (1340-5888)40(2): i-397	Others
30	東裕子	皮膚科	【連載】皮膚科専門医のための模擬テスト2	皮膚科第 2022 Feb; 1 (2): 287	Others
31	金蔵拓郎	皮膚科	【かゆみ診療に必要な最新の知識】かゆみの薬物治療 外用剤	臨牀と研究2022 Mar; 99 (3): 301-6	Others
32	田代葵子、上笹貫太郎、堀之内道子、他	眼科	インターフェロン-β結膜下注射が奏功した結膜悪性黒色腫の1例.	臨床眼科75巻13号 Page1650-1655 (2021.12)	Case report
33	中澤祐則	眼科	Clinical Challenge対光反射が正常な視神経疾患の1例.	臨床眼科75巻13号 Page1570-1573 (2021.12)	Case report
34	坂本泰二、園田祥三、山下高明、他	眼科	網膜研究とデータサイエンス.	日本眼科学会雑誌126巻3号 Page221-	Review
35	川島雄介、原慶宜、徳永悟士、他	顎顔面放射線科	左顎下部に発生したRosai-Dorfman diseaseの1例	歯科放射線. 2021 4月60(2):63-65	Case report
36	白川由紀恵、大野幸、山下薫、他	歯科麻酔科	多剤抗パーキンソン病薬を服用している患者の頬骨・上顎骨骨折に対する観血的修復固定術の麻酔経験	日本歯科麻酔学会雑誌. 2022 Feb; 50 (2);76-78	Case report
37	宮田隆司、下堂菌恵	リハビリテーション科	【高齢者リハビリテーションの羅針盤- 治し、支える医療の実践】高齢者脳卒中片麻痺患者のリハビリテーション	Journal of Clinical Rehabilitation(0918-5259)30巻13号 Page1410-1416(2021.11)	Review
38	大瀧倫太郎、下堂菌恵	リハビリテーション科	回復期リハビリテーション病棟における機能再建へのアプローチ	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 58(5):505-509.	Review
39	渡邊温子、大賀泰彦、上之段麻美、他	矯正歯科	上顎左側側切歯の歯根外部吸収を有するアングルⅠ級を治療した1例.	南九州歯学会誌. 2021.9 2(1):12-18.	Case report
40	石川崇典、前田綾、中川祥子、他	矯正歯科	上顎歯列弓幅径を維持しながら矯正歯科治療を行った軟口蓋裂を伴うアングルⅠ級叢生症例.	九州矯正歯科学会誌. 2021.12 17(1):1-6.	Case report
41	前田綾、オノ木みなみ、日野沙耶佳、他	矯正歯科	外傷で喪失した上顎左側中切歯の空隙を矯正歯科治療で閉鎖した開咬を伴う骨格性Ⅲ級症例.	Clinical and Investigative orthodontics- Japanese Edition 2022.3 81(1):19-26.	Case report
42	宮脇正一、古川みなみ、丸谷佳菜子、他	矯正歯科	口腔機能の異常と早期治療の必要性.	東京矯歯誌. 2021.12 31:140-147.	Review
43	勝俣愛一郎、星加知宏、西谷佳浩	保存科	白金ナノコロイドが1ステップボンディング材と健全・脱灰象牙質せん断接着強さに及ぼす影響	日本再生歯科医学会誌.2022.3.30,20(1) : 1-8	Original Article
44	吉村卓也、鈴木甫、高山大生、他	口腔顎顔面外科	口腔扁平上皮癌患者の予後に対する術前低予後栄養指数および高筋肉内脂肪含有量の影響(二次投稿)	日口外誌 2021年6月;67(6):410-416.	Original Article
45	上栗裕平、瀧上貴央、手塚征宏、他	口腔顎顔面外科	片側性唇顎裂患者の鼻前庭部にみられた鼻唇嚢胞の一例.	日口蓋誌, 2021年4月;46(1):41-46.	Case report
46	築詰伸太郎、黒田高史、生若昂志、他	周産母子センター	肥満症例におけるデュアルドッキング手術の検討と課題	産婦人科手術32号	Review
47	築詰伸太郎、生若昂志、戸上真一、他	周産母子センター	婦人科がんにおける細胞診検体を用いたゲノムパネル検査に関する検討	日本臨床細胞学会雑誌60巻 2021.05	Review
48	唐木田智子、崎濱ミカ、新原有一朗、他	周産母子センター	子宮頸がん治療に伴う外科的閉経がQOL (quality of life)および感情に及ぼす影響に関する検討	日本女性医学学会雑誌29巻 2021.10	Review
49	内田那津子、沖利通、折田有史、他	周産母子センター	産科関連の出血に対する子宮動脈塞栓術の月経や妊孕性への影響	日本生殖医学会雑誌66巻4号 2021.10	Review

50	築詰伸太郎、牛若昂志、福田美香、他	周産母子センター	ロボット子宮体がん手術の進歩 高リスク体がん手術におけるデュアルドッキング手術の確立に向けて	日本産科婦人科内視鏡学会雑誌37巻 2021.09	Original Article
51	築詰伸太郎、牛若昂志、黒田高史、他	周産母子センター	進行卵巣癌における初回治療後の憎悪後生存期間(Postprogression Survival)に関する検討	日本産科婦人科学会雑誌73巻 2021.03	Original Article
52	橋元慎一、柿原敦子、児島一成、他	光学医療診療部	EP後の晩期偶発症とその治療.	消化器内視鏡. 2022 Jan; 34:109-	Review
53	橋元慎一、児島一成、川平真知子、他	光学医療診療部	鹿児島大学病院での胆膵疾患に対するチーム医療.	胆と膵. 2021 May; 42: 475-480.	Review
54	沖利通、内田那津子、永野大河、他	漢方診療センター	月経期の子宮鏡で頸管を同定しえた子宮内膜ポリープ合併不妊症	日本生殖医学会雑誌66巻4号 2021.10	Case report
55	金澤直子、寺菌英之、茂見茜里、他	薬剤部	COVID-19治療中に腎移植患者のタクロリムス血中濃度が上昇した2症例	医療薬学. 2022 Feb; 48(2): 106-111	Case report
56	藤田和幸、吉井洋之、渡口佳那恵、他	看護部	外科的治療が必要な精神症状を有する患者の身体拘束に対する精神科看護師のアセスメント	日本精神科看護学術集会誌.64巻1号. Page342-343(2021.06)	Case report
57	吉井洋之、藤田和幸、渡口佳那恵、他	看護部	外科的治療が必要な精神疾患を有する患者の身体拘束に対するアセスメント:精神科看護師を対象とした質的研究	鹿児島大学医学部保健学科紀要 (1346-2180)32巻1号Page37-43 (2022.03)	Original Article
58	熊須千紘、徳永祥子、窪菌由佳、他	看護部	子宮頸がん合併妊婦における広汎子宮全摘出術前後の看護ケアと退院尾を見据えた支援～母乳育児支援を通して～	鹿児島県母性衛生学会誌 第26号 2022.3 10-14	Case report
59	紺屋ゆかり、東郷成美、内山美香、他	看護部	救急病棟看護師に対する意識調査からみた身体抑制に関する傾向と課題の検討	九州救急医学雑誌 21巻1号13-18 (2021.12.31)	Original Article

計10件  
合計59件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容  倫理委員会設置者の責務、倫理委員会の役割・責務、倫理委員会の構成・業務・運営、記録の保存、調査・審議の受託、外部倫理審査委員会の利用、守秘義務等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容  目的、定義、委員会の設置、申告書の提出、指導等、異議申立て、情報開示等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 回 (e-ラーニングは随時)
・ 研修の主な内容  1. 臨床研究管理センターのウェブサイトでe-ラーニング(ICR Web)による受講を実施した。 ※主な講座：臨床研究の基礎知識講座(旧 臨床研究入門初級編) 2. 生命科学・医学系研究講習会を開催した。	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

医師として共通に求められている基礎的知識、技術、マナー等の修得を目指したいいわゆる初期臨床研修（2年間）を修了した医師は、その後も引き続き研修を行うことになるが、（各診療科により異なるが通算して概ね5～6年の研修期間）その間、各科の指導医のもと入院患者及び外来患者の診療に従事するとともに、症例検討会、抄読会並びに種々のカンファレンス等に参加することにより一層の研鑽を行うことはもとより、地域のメディカルセンターとしてより先進的な医療の開発、研究を行っているとともに、それぞれの専門的な高度の知識と技術の修得に努めている。

また、それぞれの科の標榜するための条件となる各科関連学会の定める専門医、認定医の資格取得のための指導体制も十分に整っている。

その他、日進月歩の医学の世界において医師の生涯学習の観点から、地域の病院との連携を促進し地域医療の発展に寄与することを目的とした「研修登録医」制度を設け、本学大学病院において病棟回診、症例検討会その他の研究会並びに患者の診療等に参加することを通じて、先進的な知識や技術を修得するために1年間の研修を行っている。

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	187人
-------------	------

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
大石 充	心臓血管内科	部門科長	32年	
曾我 欣治	心臓血管外科	部門科長	31年	
井戸 章雄	消化器内科	部門科長	38年	
大塚 隆生	消化器外科	部門科長	27年	
高嶋 博	脳神経内科	部門科長	32年	
吉本 幸司	脳神経外科	部門科長	27年	
井上 博雅	呼吸器内科	部門科長	37年	
佐藤 雅美	呼吸器外科	部門科長	40年	
浅川 明弘	心身医療科	部門科長	29年	
榎田 英樹	泌尿器科	部門科長	30年	
石塚 賢治	血液・膠原病内科	部門科長	33年	
西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	部門科長	37年	
中村 雅之	神経科精神科	部門科長	26年	
岡本 康裕	小児科	部門科長	32年	
家入 里志	小児外科	部門科長	27年	
小林 裕明	産婦・婦人科	部門科長	37年	
谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	部門科長	27年	
金蔵 拓郎	皮膚科	部門科長	38年	
坂本 泰二	眼科	部門科長	37年	
山下 勝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	部門科長	26年	
吉浦 敬	放射線科	部門科長	33年	
田中 達朗	口腔顎顔面放射科	部門科長	25年	

森山 孝宏	麻酔科	部門科長	22年	
杉村 光隆	歯科麻酔科	部門科長	35年	
下堂 蘭 恵	リハビリテーション科	部門科長	33年	
於保 孝彦	口腔保健科	部門科長	39年	
宮脇 正一	矯正歯科	部門科長	33年	
山崎 要一	小児歯科	部門科長	39年	
西谷 佳浩	保存科	部門科長	26年	
野口 和行	歯周病科	部門科長	36年	
南 弘之	冠・ブリッジ科	部門科長	32年	
西村 正宏	義歯補綴科	部門科長	28年	
杉浦 剛	口腔外科	部門科長	31年	
中村 典史	口腔顎顔面外科	部門科長	40年	
橋口 照人	検査部	部長	35年	
松永 明	手術部	部長	34年	
垣花 泰之	救命救急センター（救急科）・集中治療部	部長	35年	
古川 良尚	輸血・細胞治療部	部長	38年	
谷本 昭英	病理部	部長	34年	
田口 則宏	歯科総合診療部	部長	28年	
川村 英樹	感染制御部	副部長	22年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）			
研修の主な内容	研修の期間	実施回数	研修の参加人数
鹿児島県母性衛生学会	2021/8/1	1回	130人
鹿児島大学病院歯科インプラント研修会	2021/4/28～2022/3/16	10回	10人
インプラントカンファレンス	2021/4/12～2022/3/14	13回	3人
安全の知識 輸血の基礎	2021/5/13	1	60人
コロナに対しての治療と現状の課題	2021/7/1	1	30人
医療従事者からの提言 ～知るべきことやるべきこと～	2021/7/11	1	50人
看護部研修	別紙「看護部年間教育実施書」のとおり		
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）			
研修の主な内容	研修の期間	実施回数	研修の参加人数
放射線取扱者教育訓練	2021/6/7～2021/6/30	1回	27人
補綴科合同連絡会	2021/4/8～2022/3/10	11回	5人
インプラント専門外来担当者会議	2021/4/28～2022/3/14	7回	3人

看護部研修	別紙「看護部年間教育実施書」のとおり
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況	

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

# 2021年度 看護部年間教育計画(原議書)

令和3年12月1日

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	内容	講師	担当者	評価
新人	基礎研修1-① IT研修	4月5日(月) 9:00~12:00 第4講義室 医療情報部 操作演習室	54	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.患者情報を扱う際の責務を理解する 2.電子カルテを使い、患者情報の閲覧法が分かる 3.看護記録システムの構成が分かる 4.看護記録の入力操作が演習でできる 5.電子カルテから、医師の指示確認方法が分かる 6.THINK、医療安全・感染対策などのマニュアル閲覧が出来る 7.メールや研修履歴等、自分自身の情報ツールの操作方法が理解できる	講義	医療情報部 部長 教授 宇都由美子	教育委員会	研修終了後 アンケート
	基礎研修1-② IT研修	4月5日(月) 1G:13:30~14:40 2G:14:50~16:00 医療情報部 操作演習室	16			演習	看護部システム担当 花原康代	教育委員会	
	基礎研修1-③ IT研修	4月6日(火) 1G:8:30~9:40 2G:9:50~11:00 3G:12:30~13:40 4G:13:50~15:00 5G:15:10~16:20 医療情報部 操作演習室	40			演習	看護部システム担当 花原康代	教育委員会	
	基礎研修2-① 標準予防策・廃棄物処理 ＜安全の知識＞ 転倒・転落予防 内服・点滴管理	4月14日(水) 第4講義室10:00~11:45	54			講義	安全管理GRM(副看護部長) 福島 悦子	教育委員会	技術評価 (6・10ヶ月)
	基礎研修2-② 標準予防策・廃棄物処理 ＜安全の知識＞ 転倒・転落予防 内服・点滴管理	4月16日(金) 1G:8:30~10:45 2G:12:00~14:15 3G:14:30~16:45 総合臨床研修センター 演習室3・4、セミナー室	54			講義・演習	キャリア開発室 田中久美子 内匠美貴	教育委員会	
	基礎研修3 輸液ポンプ・シリンジポン プ	4月21日(水) 1G:8:30~12:00 2G:13:15~16:45 第4講義室 総合臨床研修センター セミナー室、演習室3・4	54			講義・演習	臨床工学技士 田中亮太	教育委員会	研修終了後 アンケート 技術評価 (6・10ヶ月)
	基礎研修4-① 体位変換・褥瘡予防	4月27日(火) 13:00~16:45 保健学科 基礎・成人看護学実習室	18			講義・演習	特定看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師 西帯野智代	教育委員会	研修終了後 アンケート 技術評価 (6・10ヶ月)
	基礎研修4-② 体位変換・褥瘡予防	4月28日(水) 1G:8:30~12:00 2G:13:00~16:45 保健学科 基礎・成人看護学実習室	34			講義・演習	特定看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師 西帯野智代	教育委員会	
	基礎研修5 パートナーシップ・マインド 夜勤導入研修	5月7日(水) 1G:9:00~11:00 2G:12:15~14:15 3G:14:45~16:45 総合臨床研修センター セミナー室	54			講義・演習	教育専従 田中久美子	教育委員会	研修終了後 アンケート
	基礎研修6 安全の知識(輸血・薬剤)	5月13日(木) 9:45~14:10	54			講義	薬剤部副部長 菅原英輝 輸血・細胞治療部部長 古川良尚	教育委員会	研修終了後 アンケート

基礎研修7-① 糖尿病看護・血糖測定・静脈血採血	5月21日(金) 9:00~11:30 第4講義室	53		講義	糖尿病看護認定看護師 井手迫和美 教育専従 内匠美貴	教育委員会	
基礎研修7-② 糖尿病看護・血糖測定・静脈血採血	5月27日(木) 1G:13:00~15:10 総合臨床研修センター セミナー室、演習室3・4	18		1.糖尿病看護の基礎知識を習得できる 2.血糖測定、静脈血採血が安全に実施できる知識を身につけることができる 3.血糖測定を安全に実施できる 4.静脈血採血を安全に実施できる	演習 教育専従 田中久美子	教育委員会	研修終了後 アンケート 技術評価 (6・10ヶ月)
基礎研修7-③ 糖尿病看護・血糖測定・静脈血採血	5月27日(木) 1G:9:30~11:40 2G:13:00~15:10 総合臨床研修センター セミナー室、演習室3・4	35		演習 教育専従 田中久美子	教育委員会		
基礎研修8 口腔ケア 食事介助・経管栄養	6月4日(金) 1G:8:15~12:00 2G:13:00~16:45 第4講義室 総合臨床研修センター 演習室1・2・3・4	54		1.口腔ケアの基礎知識・技術を習得できる 2.食事介助の基礎知識・技術を習得できる 3.経管栄養の基礎知識・技術を習得できる	講義・演習 摂食・嚥下障害看護認定看護師 鈴木真由美	教育委員会	
基礎研修9 看護記録(必要度含む)、 接遇・コミュニケーション	6月9日(水) 9:00~16:45 第4講義室	53	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.POSIによる看護記録が理解できる 2.重症度、医療・看護必要度を理解し、適切に評価することができる 3.評価した内容を、看護記録に正確に記載できる 4.医療者として責任ある態度とコミュニケーションをとることができる 5.態度・言葉遣い、おもてなしを学ぶことで、患者と信頼関係を学ぶことができる	講義・演習 看護記録検討・監査委員 C4病棟 田代由美子 教育委員 B7病棟 新穂ゆき枝 教育専従 田中久美子	教育委員会	研修終了後 アンケート
基礎研修10 フィジカルアセスメント	6月23日(水) 1G:8:15~12:00 2G:13:00~16:45 第4講義室 総合臨床研修センター セミナー室、演習室1・2・3・4	51		1.フィジカルアセスメントに関する基本的知識を習得できる 2.フィジカルアセスメントの基本技術が習得できる 3.グループワークで事例のフィジカルアセスメントを実施できる	講義・演習 集中ケア認定看護師 山下 浩美 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 水迫友和	教育委員会	研修終了後 アンケート 技術評価 (6・10ヶ月)
基礎研修11 ストレス・マネジメント	7月2日(金)8:30~12:25 第4講義室	51		1.心の健康とストレス、その対応について説明できる	講義・演習 保健学科看護学専攻 地域包括看護学 教授 山下亜矢子	教育委員会	研修終了後 アンケート
基礎研修12-① 吸引・酸素吸入	7月14日(水) 1G:8:30~12:15 2G:13:00~16:45 総合臨床研修センター 演習室1・2・3・4	25		1.口鼻腔吸引が演習でできる 2.閉鎖式気管内吸引が演習でできる 3.開放式気管内吸引が演習でできる 4.酸素吸入中の患者の看護について理解できる	講義・演習 呼吸療法士 B4看護師 吉永健嗣	教育委員会	研修終了後 アンケート 技術評価 (6・10ヶ月)
基礎研修12-② 吸引・酸素吸入	7月15日(木) 1G:8:30~12:15 2G:13:00~16:45 総合臨床研修センター 演習室1・2・3・4	25		講義・演習 呼吸療法士 B4看護師 吉永健嗣	教育委員会		

新人	基礎研修13-① 静脈注射・筋肉注射・皮下注射	8月24日(火) 8:30~11:50 第4講義室	50	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.静脈注射・皮下注射・筋肉注射を実施する上で必要な解剖整理について学ぶ 2.安全に静脈内注射・皮下注射・筋肉注射が演習で実施できる	講義	教育委員 B8病棟 畠中 慈美 教育専従 田中 久美子 教育専従 内匠 美貴	教育委員会	研修終了後 アンケート 技術評価 (6・10ヶ月)		
	基礎研修13-② 静脈注射・筋肉注射・皮下注射	8月24日(火) 1G:13:00~16:45 保健学科4階 基礎成人看護学実習室	19			演習	教育専従 田中久美子	教育委員会			
	基礎研修13-③ 静脈注射・筋肉注射・皮下注射	8月24日(火) 2G:8:10~11:55 3G:13:00~16:45 保健学科5階 基礎成人看護学実習室	30			演習	教育専従 田中久美子	教育委員会			
	基礎研修14-① BLS	10月18日(月) 1G:9:00~11:35 2G:13:10~15:45 総合臨床研修センター 演習室3・4	30		1.AEDを含む一次救命処置について学び、臨床における救急場面で実践できる	講義・演習	災害支援ナース B4病棟 重信 玲子	教育委員会		研修終了後 アンケート 技術評価 (6・10ヶ月)	
	基礎研修14-② BLS	10月19日(火) 1G:13:10~15:46 総合臨床研修センター セミナー室	19			講義・演習	災害支援ナース B4病棟 吉永 健嗣	教育委員会			
	看護を語る	11月29日(月) 1G:9:00~11:00 2G:12:15~14:15 3G:14:45~16:45 総合臨床研修センター	48		看護の楽しさ、やりがい、奥深さを実感し、専門職者としての自覚や責任ある行動がとれる	1.自分の嬉しかった事例や上手くいったと感じた看護体験の振り返りが出来る 2.他参加者の看護体験を共有できる 3.看護の楽しさ、やりがい、奥深さを実感できる 4.看護専門職としての姿勢や態度についての自分の課題を考えられる	演習	教育委員 救急病棟 島岡 京美 NICU 伊地知 睦美 教育専従 田中 久美子		教育委員会	研修終了後 アンケート
	看護実践プロセスⅠ①	12月2日(木) 13:15~16:45 総合臨床研修センター セミナー室	24		自己の看護実践の振り返りを行い、問題点を明確化し、看護師・助産師としての役割を考える	1.看護の役割を理解できる 2.看護実践プロセスを理解し、評価できる 3.看護実践プロセス(個別性のある看護)を理解し表現できる	講義・演習	教育委員 B3病棟 水迫 友和 教育専従 田中 久美子		教育委員会	研修終了後 アンケート ラダーⅠ レポート
看護実践プロセスⅠ②	12月2日(木) 13:15~16:46 総合臨床研修センター セミナー室	24	講義・演習	教育委員 B4病棟 水迫 友和 教育専従 田中 久美子			教育委員会	研修終了後 アンケート ラダーⅠ レポート			
フィジカルアセスメントフォローアップ	2月 詳細未定		医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.フィジカルアセスメント技術の振り返りが行える。 2.フィジカルアセスメントに関する知識を高め、患者の状態変化をアセスメントすることが出来る。 3.事例の状態変化時の一次評価を報告出来る。	講義・演習	集中ケア認定看護師 山下 浩美 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 水迫友和	教育委員会	研修終了後 アンケート 技術評価 (6・10ヶ月)			

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 坂本 泰二	
管理担当者氏名	各診療センター部門科長 薬剤部長 (武田 泰生) 臨床技術部長 (弓場 裕之) 医務課長 (山森 剛)	医療情報部長 (宇都 由美子) 看護部長 (宮藪 幸江) 総務課長 (鮎川 秋徳)

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各センター、部門科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	電子カルテ。スキャン文書/医療情報部診療情報管理室 (病歴室)
		看護記録	電子カルテ。スキャン文書/医療情報部診療情報管理室 (病歴室)
		検査所見記録	電子カルテ。スキャン文書/医療情報部診療情報管理室 (病歴室)
		エックス線写真	医療情報部・放射線部/PACS保管
		紹介状	医療情報部診療情報管理室 (病歴室)
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医務課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医務課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課
	第一規則	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医務課
		<p>(1) 診療記録に関する諸記録は、2007年以降の外来及び入院分から電子カルテに保管している。</p> <p>(2) 一部の諸記録 (紹介状、同意書等) については、1患者1ID番号により、外来ホルダー、入院ホルダーにわけて定められた保存期間に基づき、一括管理している。</p> <p>(3) 保管期間を超過した紙媒体の診療諸記録は、廃棄ルールに基づき、原則廃棄している。</p> <p>(4) 画像データ (CT、MRI、RI、一般撮影、透視、血管造影等) は2013年からはデジタル画像として院内サーバにて保存している。</p> <p>(5) 特別な場合 (医療訴訟、公的機関からの要請等) 以外は、院外への持出しは厳禁としている。</p>	

	医療に係る安全管理のための委員会 の開催状況	医務課	
	医療に係る安全管理のための職員 研修の実施状況	医務課	
	医療機関内における事故報告等 の医療に係る安全の確保を目的 とした改善のための方策の状況	医務課	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医務課	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医務課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医務課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医務課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床技術部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床技術部	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床技術部			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報部
		医療安全管理部門の設置状況	医務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医務課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医務課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医務課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医務課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課
管理者が有する権限に関する状況	総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画    ② 現状
閲覧責任者氏名	病院長 坂本 泰二
閲覧担当者氏名	総務課長 鮎川 秋徳
閲覧の求めに応じる場所	総務課
閲覧の手続の概要	
閲覧場所を設置しており、要求があった場合には対応できる状況である。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>I 趣旨</li> <li>II 安全管理に関する基本的考え方</li> <li>III 組織に関する基本的事項</li> <li>IV 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針</li> <li>V 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</li> <li>VI 医療事故等発生時の対応に関する基本方針</li> <li>VII 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li> <li>VIII 患者等からの相談への対応に関する基本方針</li> <li>IX その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li> </ul> </li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無（ 有・無 ）</li> <li>・ 開催状況：年 12 回</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療の安全管理体制の確保に関すること。</li> <li>(2) 医療に関する安全管理指針に関すること。</li> <li>(3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。</li> <li>(4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。</li> <li>(5) その他医療の安全管理等に関すること。</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年2回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）：e-learning研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療安全研修①（2021年度 医療安全管理部強化項目）</li> <li>(2) 医療安全研修②（みんなで担うチーム医療 チームSTEPPS®2.0【知識編】）</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備（ 有・無 ）</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療環境の変化に対応するため、医療安全管理マニュアルを随時改訂した。</li> <li>(2) 医療安全活動強化月間（6月・11月）を設定した。</li> <li>(3) 医療安全強化月間およびリスクマネージャー連絡会議等でのインシデント(1)レベル0、1報告の推奨を行った。</li> </ul> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>I 趣旨</li> <li>II 院内感染対策の基本指針</li> <li>III 組織体制</li> <li>IV 職員の教育及び研修</li> <li>V 報告に関する基本方針</li> <li>VI 対応に関する基本方針</li> <li>VII その他</li> <li>VIII 閲覧</li> </ul> </li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： <p style="margin-left: 40px;">本院における院内感染対策に関する発生状況や抗菌薬使用量を含む実施状況の情報共有、および問題の原因分析、改善策を審議し、諸施策等の策定等を行う。</p> </li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年7回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）： <p style="margin-left: 40px;">院内感染対策研修①「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対策・診療」</p> <p style="margin-left: 40px;">院内感染対策研修②「標準予防策と感染経路別予防策」</p> <p style="margin-left: 40px;">院内感染対策研修③「ベッドサイドで診る感染症 敗血症」</p> <p style="margin-left: 40px;">院内感染対策研修④「抗菌薬適正使用」</p> <p style="margin-left: 40px;">院内感染対策研修⑤「結核」</p> <p style="margin-left: 40px;">院内感染対策研修⑥「抗菌薬適正使用セミナー」※参加型ウェビナー</p> <p style="margin-left: 40px;">院内感染対策研修⑦「細菌検査と薬剤耐性菌について」</p> <p style="margin-left: 40px;">※その他に清掃業者・調理従事者向けの研修会を実施した。</p> </li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無）</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 伝播リスクの高い感染症発生時や耐性菌保有リスクの高い海外医療機関歴のある患者や過去の耐性菌検出者の入院時に部署から感染制御部に報告</li> <li>(2) 注意すべき病原体の検出時に検査部からICTに報告</li> <li>(3) 週1回検査部から病棟別主要注意菌検出状況をまとめた感染情報レポートをICTに提出</li> <li>(4) 重大な感染事例の発生時は感染制御部から病院長に報告</li> <li>(5) ICTスタッフ会議、感染症対策委員会において報告</li> <li>(6) リスクマネージャー連絡会議を通じて院内に周知</li> </ol> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>2021/4/ 4 新規採用者ガイダンス（医師）</li> <li>2021/4/ 5 新規採用者ガイダンス（歯科）</li> <li>2021/4/ 6 研修医ガイダンス</li> <li>2021/4/20 看護部新規採用者研修会</li> <li>2021/7/15 糖尿病治療薬（C7）</li> <li>2021/8/16 糖尿病治療薬（注射）（C7）</li> <li>2022/1/28 カテコラミンについて（救急）</li> <li>2022/2/ 2 麻薬・化学療法の注意点について（C3）</li> <li>2022/3/16 ～ 28 未承認新規医薬品等を用いた医療体制について（web研修, 全職員対象）</li> <li>2022/3/16 ～ 28 麻薬の取扱い・管理について（web研修, 全職員対象）</li> <li>2022/3/16 ～ 28 疑義照会について（web研修, 全職員対象）</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 （有・無）</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 医薬品の採用について</li> <li>(2) 医薬品の購入について</li> <li>(3) 調剤室における医薬品の管理について</li> <li>(4) 病棟・各部門への医薬品の供給について</li> <li>(5) 外来患者への医薬品使用について</li> <li>(6) 在宅患者への医薬品使用について</li> <li>(7) 病棟における医薬品の管理について</li> <li>(8) 入院患者への医薬品使用について</li> <li>(9) 医薬品情報の収集・管理・提供について</li> <li>(10) 手術・麻酔部門について</li> <li>(11) 救急部門・集中治療室について</li> <li>(12) 輸血・細胞治療部門について</li> <li>(13) 生命維持管理装置領域について</li> <li>(14) 臨床検査部門、画像診断部門について</li> <li>(15) 歯科領域について</li> <li>(16) 他施設との連携について</li> <li>(17) 事故発生時の対応について</li> <li>(18) 教育・研修について</li> </ol> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （有・無）</li> <li>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ゲムシタビン+ドセタキセル（GD）療法：進行子宮肉腫</li> <li>(2) パクリタキセル+イホスファミド+シスプラチン併用療法：陰茎癌（3件）</li> </ol> </li> </ul>	

- (3) リツキシマブ：全身性エリテマトーデス
- (4) セレコックス：新生児のリンパ管腫
- (5) 5FU+シスプラチン（FP療法）：陰茎癌（2件）
- (6) セルトリズマブペゴル：ベーチェット病
- (7) インライタ：腎細胞がん
- (8) ベネクレスタ、ビダーザ：急性骨髄性白血病
- (9) SMOFlipid、Omegaven：腸管神経節細胞僅少症（2件）
- (10) オプジーボ：急性骨髄性白血病
- (11) アジスロマイシン：肺移植後移植片慢性機能不全
- (12) カボザンチニブ（カボメティクス錠）：小児の根治切除不能の腎細胞がん
- (13) イピリムマブ・ニボルマブ・パクリタキセル：膵臓癌
- (14) エトポシド、ドキシソルビシン、シスプラチン+ミトタン（EDP+M療法）：副腎がん

・ その他の改善のための方策の主な内容：

医薬品情報の周知状況の確認を徹底するために、DIニュースについては、毎月の発行分を医療安全委員会に報告し、リスクマネージャー連絡会議にて全職員への再周知を依頼し、各部署より情報確認済み署名記載用紙を回収している。

緊急安全性情報（イエローレター）ならびに安全性速報（ブルーレター）が発出された場合には、院内通知文書や院内メール、院内イントラネット、病棟担当薬剤師による情報提供、当該医薬品を使用している患者カルテへの記載を行う等、様々な方法で情報提供を行い、情報発信時に情報確認済み署名記載用紙を回覧し、回収することとしている。

過去に適応外使用として臨床倫理委員会にて承認された医薬品ならびに化学療法委員会にて承認された医薬品については、該当診療科の使用ならびに該当患者への使用を確認している。

一般医薬品については、これまで、適応外処方については疑義照会として実施し、また、禁忌については、電子カルテ上での警告表示ならびに疑義照会として実施し処方変更を依頼している。

現在、適応外使用・禁忌に対する使用については、未承認新規医薬品等評価部門へ申請し許可を得られなければ使用できない体制を構築しており、病棟薬剤師ならびに調剤する薬剤師は、適応外・禁忌に関する処方を発見した際には、処方医に未承認新規医薬品等評価部門への申請が必要な旨を伝え、あわせて、未承認新規医薬品等評価部門長である、医薬品安全管理責任者へ報告する。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年9回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 人工心肺装置（補助循環装置を含む）研修会（2021年7月25日、2022年3月31日）</li> <li>(2) 人工呼吸器研修会（2021年11月16日～12月16日、2022年3月12日～3月26日）</li> <li>(3) 血液浄化療法研修会（2022年1月6日 2022年3月16日 2022年3月28日）</li> <li>(4) 除細動器研修会（2021年11月16日～12月16日、2022年3月12日～3月26日）</li> <li>(5) 閉鎖式保育器研修会（2021年7月1日～7月31日、2022年3月1日～3月31日）</li> </ol> </li> </ul>	
<p>③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 （有・無）</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 人工心肺装置及び補助循環装置 （年1回）</li> <li>(2) 人工呼吸器 （年1回）</li> <li>(3) 血液浄化療法装置 （年1回）</li> <li>(4) 除細動器 （年1回）</li> <li>(5) 閉鎖式保育器 （年1回）</li> </ol> </li> </ul>	
<p>④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （有・無）</li> <li>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：               <p>なし</p> </li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 全医療職員を対象とした講習会（年2回）                   <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 人工呼吸器及び除細動器の安全管理～インシデント事例より学ぶ～</li> <li>2) 人工呼吸器及び除細動器の安全管理</li> </ol> </li> <li>(2) 手術内視鏡関連機器を利用する8診療科医師向け講習会                   <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 対象診療科：耳鼻咽喉科、脳神経外科、消化器外科、産科・婦人科、小児外科、泌尿器科呼吸器外科、整形外科</li> <li>2) 手術内視鏡ビデオスコープ取り扱い勉強会</li> </ol> </li> <li>(3) 医療機器安全管理検討委員会およびME機器センター運営委員会での情報周知                   <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 輸液ポンプ等の流量の10倍間違い</li> <li>2) 人工呼吸器の回路の接続外れ</li> <li>3) 漏電等による医療機器からの出火について</li> <li>4) IMPELLA補助循環用ポンプカテーテル使用による出血事例について</li> <li>5) 「大動脈内バルーンポンプ CARDIOSAVE」トッププロテクションカバー安全性情報について</li> </ol> </li> </ol> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 責任者の資格（<u>医師</u>・歯科医師）</li> <li>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</li> </ul> <p>医療に関する安全管理のための指針を令和元年6月10日一部改訂し、従来の医療環境安全部を医療安全管理部と感染制御部に改組し、各部門の機能強化を図った。その上で医療安全管理責任者に病院長補佐（安全管理担当：医科）を充て、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理者を統括させることとしている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（9名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</li> </ul> <p>医薬品情報室にて情報を収集・整理し、DIニュースとして発行している。また、平成28年10月より、1ヶ月の周知状況を医療安全委員会に報告し、リスクマネージャー連絡会議にて全職員への再周知を依頼し、各部署より情報確認済み署名記載用紙を回収している。</p> <p>緊急安全性情報（イエローレター）ならびに安全性速報（ブルーレター）が発出された場合には、情報発信時に情報確認済み署名記載用紙を回覧し、回収している。（直近では令和3年6月にジョイクル関節注30mgによるショック、アナフィラキシーについてのブルーレターが発出されている）</p> <p>医薬品・医療機器安全情報に掲載されている医薬品については、当該医薬品を投与している患者を抽出し、当該医薬品を投与している患者の主治医に対し、病棟担当薬剤師より、電子カルテにて情報提供を行い、該当患者一覧表を保存している。</p> <li>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</li> <p>過去に適応外使用として臨床倫理委員会にて承認された医薬品ならびに化学療法委員会にて承認された医薬品については、該当診療科の使用ならびに該当患者への使用を確認している。</p> <p>一般医薬品については、これまで、適応外処方については疑義照会として実施し、また、禁忌については、電子カルテ上で警告表示している。警告を突破して禁忌薬が処方された場合は、疑義照会を実施し、処方変更を依頼している（警告を突破して禁忌薬が処方された場合、調剤支援システムにより、処方箋に禁忌薬が処方されている旨が出力されるため、初回出力時に疑義照会している）。</p> <p>現在、適応外使用・禁忌に対する使用については、未承認新規医薬品等評価部門へ申請し許可を得られなければ使用できない体制を構築しており、病棟薬剤師ならびに調剤する薬剤師は、適応外・禁忌に関する処方を発見した際には、処方医に未承認新規医薬品等評価部門への申請が必要な旨を伝え、あわせて、未承認新規医薬品等評価部門長である、医薬品安全管理責任者へ報告している。</p>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担当者の指名の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 担当者の所属・職種 :  (所属 : 薬剤部 , 職種 薬剤部長 ) (所属 : 薬剤部 , 職種 副薬剤部長 )  (所属 : 薬剤部 , 職種 医薬品情報主任 ) (所属 : 薬剤部 , 職種 病棟薬剤業務管理主任 )</li> </ul>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 :   インフォームドコンセント委員会において、診療科より提出された説明書がインフォームドコンセントマニュアルの規定にそったものであるかを確認、審査し、不足追加部分について指摘、訂正を促す。最終版を委員会で承認し、院内共通の文書として登録している。</li> </ul>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容 :   診療記録の記載方法は、診療情報管理委員会で作成した「診療記録記載要領」に提示している。診療記録の記載内容の確認は、同委員会で作成した「診療記録監査・統計・分析要領」に従い、医療情報部診療情報管理部門で定期的に量的監査をおこなっている。また、診療情報管理 WG においては、多職種での質的監査も実施している。監査結果は、各診療科長へフィードバックするとともに、関連する委員会等で報告している。</li> </ul>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員 : 専従 ( 4 ) 名、専任 ( ) 名、兼任 ( 2 ) 名  うち医師 : 専従 ( 1 ) 名、専任 ( ) 名、兼任 ( 2 ) 名  うち薬剤師 : 専従 ( 1 ) 名、専任 ( ) 名、兼任 ( ) 名  うち看護師 : 専従 ( 2 ) 名、専任 ( ) 名、兼任 ( ) 名  (注) 報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること</li> <li>・ 活動の主な内容 :  (1) 医療安全を確保するための改善方策に関すること。  (2) 医療安全に係る教育・研修事業の企画及び運営に関すること。  (3) インシデントの分析に関すること及びインシデント分析部会開催に関すること。  (4) インシデントに関する診療録や看護記録等への記載状況の確認・指導に関すること。  (5) 患者や家族への説明等の対応状況の確認・指導に関すること。  (6) 医療安全管理委員会の運営に関すること。  (7) 院内各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づき、医療安全確保のための業務改善計画書を作成し、それに基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果を記録すること。  (8) 医療安全管理委員会との連携状況、院内研修の実績、患者等の相談件数及び相談内容、</li> </ul>	

- 相談後の取り扱いその他の医療安全管理者の活動実績の記録に関すること。
- (9) 医療安全に係る連絡調整に関すること。
  - (10) その他医療安全対策の推進に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。  
※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（1件）、及び許可件数（1件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（  ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：  

部門科等の長から申請が行われた内容を確認するとともに、高難度新規医療技術評価委員会に対して当該技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否等について決定し、部門科等の長に対し適否結果通知書により通知している。  
実施された高難度新規医療技術に関し、定期的に、及び術後に患者が死亡した場合その他必要な場合には、診療録等の記載内容の確認を行い、従業者の遵守状況の確認を行っている。  
高難度新規医療技術の提供の適否等について決定した時及び従業者の遵守状況を確認した時は、病院長に報告している。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（  ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（  ・ 無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（23件）、及び許可件数（21件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（  ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：
  - (1) 未承認新規医薬品等使用の可否の審査
  - (2) 未承認新規医薬品等評価部門にて使用が認められた医薬品の使用報告書の確認
  - (3) 未承認新規医薬品等評価部門にて使用が認められた医薬品の使用後の有害事象等の発生の有無の確認
  - (4) 未申請で使用されている未承認新規医薬品等の調査

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (  ・ 無 )
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (  ・ 無 )

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 175 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 88 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
  - A. 上記報告の状況の確認及び管理者への報告
  - B. 概要の確認、調査・分析、改善方法の立案・検討を行う

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り (  (病院名： 長崎大学 (書面審査) ・ 無)
- ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ (  (病院名： 大分大学 (書面審査) ・ 無)
- ・ 技術的助言の実施状況
 

医療安全管理体制、医薬品安全管理体制、高難易度新規医療技術担当部門等に係る助言について、各部門において検討し、適宜改善を図っている。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・ 体制の確保状況
 

患者相談窓口を設置し、寄せられた相談内容を把握、規則によって定められた者による医療相談室会議を開催し、対応するとともに、関係部署、安全部門へも協力を要請している。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・ 研修の実施状況
 

新規で採用された医師、歯科医師、医療職員及び事務職員を対象に、4月に初任者研修を実施し、受講させている(令和3年度については新型コロナウイルス感染症対策のためe-ラーニング形式または部門ごとの研修とした。)。中途採用の職員に対しても、毎月e-ラーニング形式による研修を実施し、受講させている。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・ 研修の実施状況

管理者

2022/ 1/19 日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続]

医療安全管理責任者

2022/ 1/19 日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続]

医薬品安全管理責任者

2021/12/23 日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続]

医療機器安全管理責任者

2021/12/15 日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [初回]

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

公益財団法人日本医療機能評価機構（主たる機能：一般病院3、副機能：精神科病院）

認定期間：2020/ 3/ 6 ～ 2025/ 3/ 5

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

日本機能評価機構ホームページにより公表

・ 評価を踏まえ講じた措置

制度に基づき、期中の確認を実施

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準の主な内容            附属病院長候補者の資格は、人格が高潔で、次に掲げる要件を全て満たす者とする。           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 医師免許を有している者</li> <li>(2) 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有する者</li> <li>(3) 病院の管理運営に必要な資質及び能力を有する者</li> </ol> </li>   <li>・ 基準に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 公表の方法            鹿児島大学病院ホームページにおいて公表</li> </ul>

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 ( 有 ・ 無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 ( 有 ・ 無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 ( 有 ・ 無 )</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・合議体の主要な審議内容               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 病院の運営管理、経営等に関する重要事項</li> <li>(2) 病院長候補適任者の選考に関する事項</li> <li>(3) その他病院長が必要と認める事項</li> </ol> </li> <li>・審議の概要の従業者への周知状況               <p style="margin-left: 20px;">当該合議体に参加した各所属長をとおして、各部門に伝達している。また、イントラネットに会議資料を掲載し、院内の職員全員が閲覧できる環境を整備している。</p> </li> <li>・合議体に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>・無 )</li> <li>・公表の方法               <p style="margin-left: 20px;">鹿児島大学ホームページにより公表している。</p> </li> <li>・外部有識者からの意見聴取の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>・無 )               <p style="margin-left: 20px;">大学本部から、オブザーバーとして、理事、業務監査監事、会計監査監事が出席し、意見を伺っている。</p> </li> </ul>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
坂本 泰二	○	医師	病院長
石塚 賢治		医師	副病院長
西谷 佳浩		歯科医師	副病院長
宇都 由美子		看護師	副病院長
家入 里志		医師	副病院長
大塚 隆生		医師	副病院長
又木 雄弘		医師	副病院長
宮蘭 幸江		看護師	副病院長
吉浦 敬		医師	副病院長
佐藤 雅美		医師	副病院長
小林 裕明		医師	副病院長
南 弘之		歯科医師	病院長補佐
西尾 善彦		医師	病院長補佐
高嶋 博		医師	病院長補佐
中村 典弘		歯科医師	病院長補佐
榎田 英樹		医師	病院長補佐
松永 明		医師	病院長補佐
大石 充		医師	診療科長
曾我 欣治		医師	診療科長
井戸 章雄		医師	診療科長
井上 博雅		医師	診療科長

花谷 亮典		医師	診療科長
浅川 明弘		医師	診療科長
中村 雅之		医師	診療科長
岡本 康裕		医師	診療科長
谷口 昇		医師	診療科長
金蔵 拓郎		医師	診療科長
山下 勝		医師	診療科長
田中 達朗		歯科医師	診療科長
杉村 光隆		歯科医師	診療科長
下堂 蘭 恵		医師	診療科長
宮脇 正一		歯科医師	診療科長
於保 孝彦		歯科医師	診療科長
山崎 要一		歯科医師	診療科長
野口 和行		歯科医師	診療科長
西村 正宏		歯科医師	診療科長
杉浦 剛		歯科医師	診療科長
橋口 照人		医師	部長
垣花 泰之		医師	センター長
新山 修平		医師	副センター長
古川 良尚		医師	部長
谷本 昭英		医師	部長
田口 則宏		歯科医師	部長
上野 真一		医師	センター長
小賤 健一郎		医師	センター長
西 順一郎		医師	部長
嶽崎 俊郎		医師	センター長
武田 泰生		薬剤師	部長
弓場 裕之		理学療法士	部長
染矢 朋宏		事務	部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（・無）
- ・ 公表の方法

鹿児島ホームページにおいて公表している。

- ・ 規程の主な内容

病院長は、病院の管理運営、経営等全ての事項について、意思決定の最終責任者として、業務を掌理する。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

副病院長

【役割】医科統括・医療安全担当、歯科統括・医療安全担当

副病院長（特命）

【役割】経営分析・広報担当、経営戦略（人事労務）担当、経営戦略（物品機器）担当、経営戦略（歯科）担当、病院再開発担当、医療の質・接遇担当、災害対策担当、教育・研修担当、地域連携担当

病院長補佐

【役割】歯科教育担当、医科診療担当、歯科診療担当、医科研究担当、歯科研究担当、病床管理担当、手術担当

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

特定機能病院管理者研修

一般社団法人国立大学病院長会議

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する  
状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監査委員会の開催状況：年2回</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 委員会は、医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について病院長等から報告を求め、又は必要に応じ自ら確認すること。</li> <li>(2) 委員会は、必要に応じ、学長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を述べること。</li> <li>(3) 委員会は、前各号の業務について、監査報告書を学長に提出するとともに、監査結果を公表すること。</li> </ul> </li> <li>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</li> <li>・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</li> <li>・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</li> <li>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</li> <li>・ 公表の方法： <ul style="list-style-type: none"> <li>鹿児島大学病院ホームページにより公表している。</li> </ul> </li> </ul>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
奥村 耕一郎	琉球大学病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
玉利 尚大	玉利法律事務所		法律に関する識見を有する者	無	1
三好 綾	NPO 法人 がんサポート かごしま		医療を受ける者	無	2

- （注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
  2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
  3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・ 体制の整備状況及び活動内容
  - (1) 業務監査
    - ① 人事事務処理状況に関する監査（実地監査）  
監査内容：労務基準法、労働安全衛生法等の遵守状況  
実施時期：令和4年10月3日～令和4年10月31日
    - ② 個人情報管理状況に関する監査（実地監査）  
監査内容：個人情報保護法等の遵守状況  
実施時期：令和4年11月1日～令和4年11月30日
    - ③ 法人文書管理状況に関する監査（実地監査）  
監査内容：公文書等の管理に関する法律等の遵守状況  
実施時期：令和4年11月1日～令和4年11月30日
    - ④ 情報セキュリティに関する監査（実地監査）
      - i) 監査内容：情報セキュリティに関する脆弱性診断  
実施時期：令和4年4月1日～令和5年2月28日
      - ii) 監査内容：学内事務システムの情報セキュリティポリシー等の遵守状況  
実施時期：令和4年12月1日～令和4年12月23日
  - (2) 会計監査  
監査内容：現金・資金管理、収入・支出、契約、旅費、報酬、資産管理、未収債権及び公的研究費の会計処理状況等に関する監査  
実施時期：（書面監査）令和4年6月1日～令和4年7月29日  
（実地監査）令和4年9月1日～令和4年9月30日
- ・ 専門部署の設置の有無（  ・ 無 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（  ・ 無 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（  ・ 無 ）
- ・ 公表の方法  
鹿児島大学病院ホームページにより公表している。

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 経営協議会で、病院の経営状況について確認を行う。</li>   <li>・ 会議体の実施状況（ 年6回 ）</li>   <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）（ 年6回 ）</li>   <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</li>   <li>・ 公表の方法 鹿児島大学ホームページにより公表している。</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 通報件数 (年0件)
- ・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 周知の方法  
鹿児島大学ホームページ及び鹿児島大学病院ホームページにより周知している。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>病院概要及病院ホームページにおいて、法令による医療機関の承認・公費負担医療等指定状況等について公表している。 また、ホームページにおいて、各診療科の特色を発信している。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>救急患者及び複数疾患等においては、診療科を超えて連携して治療にあたっている。 医科歯科連携により、医科の病気で入院される患者さんに対し、適切な口腔ケアを徹底して行うことで、イレギュラーな入院の長期化を防ぎ、総体的な入院期間の短縮に貢献している。</p>	